

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

# 検体検査案内

## (1次サンプル採取マニュアル)

使用開始日：2023年11月01日

作成者		作成日	2023年10月11日
確認者		確認日	2023年10月12日
承認者		承認日	2023年10月13日

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

目次

項番	項目	ページ
1	検査室の所在地	3
2	臨床検査科連絡先および業務時間	4
3	院内検査項目・基準値・採取容器	5
3.1	生化学・免疫検査	5
3.2	血液学的検査	27
3.3	輸血検査	30
3.4	血液ガス	31
3.5	血糖・尿糖	32
3.6	尿一般・便一般・体液穿刺液検査	33
3.7	微生物学的検査	38
3.8	委託検査	49
4	検査依頼方法	50
4.1	検体検査	50
4.2	一般細菌検査	52
4.3	抗酸菌	55
4.4	輸血検査	58
4.5	口頭依頼の対応	61
4.6	システム障害時（作業停電時等含む）の対応	62
5	採取容器	63
5.1	生化学検査	63
5.2	血液検査	65
5.3	輸血検査	66
5.4	血糖検査	66
5.5	尿・便検査	67
5.6	外注検査専用容器（使用頻度の高いもの）	68
5.7	微生物学的検査	70
6	採取ラベル	74
7	一次サンプル採取手順	75
8	搬送手順	80
9	検体の受取	81
10	追加検査の依頼手順	82
11	感染性廃棄物の処理について	83
12	アドバイスサービスの案内	83
13	パニック値報告手順	83
14	個人情報の保護に関する検査室の方針	83
15	苦情処理手順	83
16	検査依頼以外の目的の検査へのサンプルの使用	84
17	参考資料	84



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 2. 臨床検査科連絡先(検体検査)および業務時間

(1) 検体検査に関する検査項目、検査結果、検査容器など検査に関する問合せは下記の担当部門に連絡して下さい。

(2) 夜間、休日はPHSに連絡して下さい。

(3) 業務時間

平日・休日日勤 8:30 ~ 17:00

夜間 17:00 ~ 8:30

検体検査部門名称 (外来検査、緊急検査を含む)	電話番号	場 所	業務内容
一般検査		検査科	尿一般検査、便検査、穿刺液検査、血糖検査、HbA <sub>1c</sub>
血液学的検査		検査科	血算、血液像、凝固線溶検査、血沈、骨髓像
輸血検査		検査科	血液型、輸血
生化学的検査、免疫学的検査		検査科	生化学検査、CRP検査、免疫グロブリン、感染症検査 血中薬剤、腫瘍マーカー、甲状腺、機能検査、 外注検査など
微生物学的検査		検査科	細菌検査、抗酸菌検査、迅速抗原検査
採血業務		中央採血室	外来採血受付、外来採血、生理検査受付、
休日日勤 (8:30~17:00) 夜間 (17:00~8:30)		検査科	休日・夜間緊急検査項目

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

3. 院内検査項目・基準値・採取容器（報告時間は夜間・休日を除いた開院日を基準としています）

3.1 生化学・免疫検査①

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
総蛋白	生	g/dL	6.6	8.1	ビウレット法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間	
アルブミン	生	g/dL	4.1	5.1	BCP改良法			0.5 mL		60分	4日間	
A/G比	生	無	1.32	2.23	計算項目			0.5 mL		60分	4日間	
蛋白分画	分	代表項目名			セルロースアセテート膜電気泳動法			0.5 mL		1～2日	4日間	
アルブミン[%]		%	60.9	71.2								
α1 [%]		%	1.7	2.8								
α2 [%]		%	5.1	9.0								
β [%]		%	7.2	11.5								
γ [%]		%	11.0	21.0								
AST	生	U/L	13	30	JSCC標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間	
ALT	生	U/L	M	10	42			JSCC標準化対応法	0.5 mL		60分	4日間
			F	7	23							
LDH	生	U/L	124	222	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間	
ALP	生	U/L	38	113	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間	
γ-GTP	生	U/L	M	13	64			JSCC標準化対応法	0.5 mL		60分	4日間
			F	9	32							
Ch-E	生	U/L	M	240	486	JSCC標準化対応法	0.5 mL		60分	4日間		
			F	201	421							
LAP	生	IU/L	30	80	L-ロイシン-P-ニトロアミド法	0.5 mL		60分	4日間			

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査②

項目名称	ラベル表示	単位	基準値			方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限								
T-AMY	生	U/L	44	132		JSCC標準化対応法	インセパック ク。II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間
P-AMY	生	U/L	14	41		JSCC標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
S-AMY	生	U/L	無	無		計算項目			0.5 mL		60分	4日間
AMY-P/S	生	無	無	無		計算項目			0.5 mL		60分	4日間
CK	生	U/L	M	59	248	JSCC標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
			F	41	153							
CK-MB	生	U/L	無	12		免疫阻害法			0.5 mL	安定時間 3日	60分	4日間
BUN	生	mg/dL	8.0	20.0		アンモニア消去法			0.5 mL		60分	4日間
CRE	生	mg/dL	M	0.65	1.07	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
			F	0.46	0.79							
eGFR	生	mL/min/ 1.73m <sup>2</sup>	60以上			計算項目			0.5 mL		60分	4日間
CLcr	生	mL/min	70	130		計算項目			0.5 mL	最新の体重 を入力	60分	4日間
UA	生	mg/dL	M	3.7	7.8	ウリカゼン・POD法			0.5 mL		60分	4日間
			F	2.6	5.5							
TG	生	mg/dL	M	40	234	酵素比色法 (遊離G消去)			0.5 mL		60分	4日間
			F	30	117							
T-Cho	生	mg/dL	142	248		コレステロール酸化酵素法	0.5 mL		60分	4日間		
HDL-C	生	mg/dL	M	38	90	直接法	0.5 mL		60分	4日間		
			F	48	103							
LDL-C	生	mg/dL	65	163		直接法	0.5 mL		60分	4日間		
nonHDL-C	生	mg/dL	M	104	158	計算項目	0.5 mL		60分	4日間		
			F	94	145							

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査③

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
Na	生	mmol/L	138	145	イオン選択電極希釈法	インセバック。II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間	
K	生	mmol/L	3.6	4.8	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間	
Cl	生	mmol/L	101	108	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間	
Ca	生	mg/dL	8.8	10.1	酵素法			0.5 mL		60分	4日間	
IP	生	mg/dL	2.7	4.6	酵素法			0.5 mL		60分	4日間	
Mg	生	mg/dL	1.7	2.6	酵素法			0.5 mL		60分	4日間	
Fe	生	μg/dL	40	188	NItorosoPSAP法			0.5 mL		60分	4日間	
TIBC	生	μg/dL	無		計算項目			0.5 mL		60分	4日間	
UIBC	生	μg/dL	M	110	278			NItorosoPSAP法	0.5 mL		60分	4日間
			F	121	290							
トランスフェリン飽和度	生	%	20.0		計算項目			0.5 mL		60分	4日間	
T-Bil	生	mg/dL	0.4	1.5	酵素法			0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間	
D-Bil	生	mg/dL	無	0.2	酵素法			0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間	
ID-Bil	生	mg/dL	0.0	0.7	計算項目	0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間			
Baby Bil	Bi	mg/dL	無		2波長分光光度法	毛細管	無	1本	10分	当日		
アンモニア	NH <sub>3</sub>	μg/dL	12	66	酵素法	BDバキュテ イナ	EDTA-2K	0.5 mL	氷冷搬送	60分	4日間	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査④

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
血中ケトン体分画	生	代表項目名			酵素サイクリング法	インセパック®II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間	
総ケトン体		μmol/L	28	120								
3-ヒドロキシ酪酸		μmol/L	無	74								
アセト酢酸		μmol/L	無	55								計算項目
グリコアルブミン	生	%	11.0	16.0	改良BCP法			0.5 mL		60分	4日間	
IgG	生	mg/dL	861	1747	免疫比濁法			0.5 mL		60分	4日間	
IgA	生	mg/dL	93	393	免疫比濁法			0.5 mL		60分	4日間	
IgM	生	mg/dL	M	33	183			免疫比濁法	0.5 mL		60分	4日間
			F	50	269							
IgGインデックス	生	無	0.00	0.70	計算項目			0.5 mL		60分	4日間	
IgE(RIST)	生	IU/mL	361以下		ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間	
CRP 定量	生	mg/dL	0.00	0.14	ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間	
ASO 定量	生	IU/mL	200以下		ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間	
RF 定量	生	IU/mL	15以下		ラテックス免疫比濁法			0.5 mL		60分	4日間	
CH50	生	U/mL	31.6	57.6	リボソーム免疫測定法	0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間			
C3	生	mg/dL	73.0	138.0	免疫比濁法	0.5 mL		60分	4日間			
C4	生	mg/dL	11.0	31.0	免疫比濁法	0.5 mL		60分	4日間			

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑤

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
KL-6	生	U/mL	105.0	401.0	ラテックス免疫比濁法	インセパック®II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間
血中BMG	生	mg/L	無	2.1	ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間
フェリチン	生	ng/mL	M 31.0 F 5.0	325.0 179.0	ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間
BNP	ア1	pg/mL	18.40以下		CLIA法	インセパック®II-D 7㊦	EDTA-2K	0.5 mL	安定時間 1日	60分	1日間
高感度トロポニンI	ト	pg/mL	26.2以下		CLIA法	インセパック®II-D	分離剤	0.5 mL	安定時間 1日	120分	4日間
亜鉛	生	μg/dL	80.0	130.0	5-Br-PAPS			0.5 mL		60分	4日間
ビタミンB12	ケ	pg/mL	233	914	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
葉酸	ケ	ng/mL	3.60	12.90	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
CEA	ア2	ng/mL	5.0以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
AFP	ア2	ng/mL	10.0以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
CA19-9	ア2	U/mL	37.0以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
CA125	ア2	U/mL	35.0以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
HE4	ア2	pmol/L	閉経前：70.0以下 閉経後：140.0以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
ROMA			%	閉経前：7.4以下 閉経後：25.3以下							
CA15-3	ア2	U/mL		31.3以下				CLIA法	0.5 mL		120分
SCC-Ag	ア2	ng/mL	1.5以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
ProGRP	ア2	pg/mL	63.0以下		CLIA法			0.5 mL	安定時間 3時間	120分	4日間
サトケチン19(シ77)	ア2	ng/mL	3.50以下		CLIA法			0.5 mL		120分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑥

項目名称	テール表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
PSA	ア1	ng/mL	4.00 以下		CLIA 法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL	安定時間 1日	120分	4日間
フリ-PSA	ア2	ng/mL	0.93 以下		CLIA 法			0.5 mL	安定時間 1日	120分	4日間
F/T-PSA 比	ア2	%	26.0 以上		計算項目			0.5 mL		120分	4日間
PIVKA-II	ア2	mAU/mL	40 以下		CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
TP 抗体 定性	生	無	(-)		ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間
TP 抗体 定量	生	COI	0.0	0.4	ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間
RPR 定性	生	無	(-)		ラテックス比濁法			0.5 mL		60分	4日間
RPR 定量	生	R.U.	0.0	0.9	ラテックス比濁法			0.5 mL		60分	4日間
HBs 抗原 定性	ア1	無	(-)		CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HBs 抗原 定量	ア1	IU/mL	無	0.04	CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HBs 抗体 定性	ア1	無	(-)		CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HBs 抗体 定量	ア1	mIU/mL	無	9.99	CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HCV 抗体 定性	ア1	無	(-)		CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HCV 抗体 定量	ア1	S/CO	0.00	0.99	CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HBc 抗体 定性	ア2	無	(-)		CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間
HBc 抗体 定量	ア2	S/CO	無	0.99	CLIA 法			0.5 mL		120分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑦

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
HIV-1+2 定性	ア1	無	(-)		CLIA法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL		120分	4日間	
HIV-1+2 定量	ア1	S/CO	0.00	0.99	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間	
タロリス	ア1	ng/mL	無		CLIA法	B-7	EDTA-2Na	1 mL		当日	4日間	
ジゴキシン	ア2	ng/mL	0.8	1.9	CLIA法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間	
テオフィリン	ア2	μg/mL	10.0	20.0	CLIA法			0.5 mL		60分	4日間	
カルバマゼピン	ア2	μg/mL	4.0	12.0	CLIA法			0.5 mL		60分	4日間	
フェニトイン	ア2	μg/mL	10.0	20.0	CLIA法			0.5 mL		60分	4日間	
バルプロ酸Na	ア2	μg/mL	50.0	100.0	CLIA法			0.5 mL		60分	4日間	
血中HCG	ケ	mIU/mL	M: 10.0 以下					CLIA法	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
			F									
			非妊娠 閉経期	10.0 以下								
			妊娠(週) 2~4	39.1	8388							
			5~6	861	88769							
			6~8	8636	218085							
			8~10	18700	244467							
			10~12	23143	181899							
			13~27	6303	97171							
28~40	4360	74883										
マイク抗体価	マ	倍	40倍未満		PA法	0.5 mL		1~2日	4日間			
プロラクチン	ア2	代表項目名			CLIA法	0.5 mL	敗血症カットOFF値	120分	4日間			
プロラクチン定性		無	(-)									
プロラクチン定量		ng/mL	0.50 未満									
		ng/mL	無	1.99			重症判定					

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑧

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間				
			下限	上限											
尿素呼気試験	UB	無	(-)		赤外分光分析法	呼気採取バッグ	無	2バッグ		10分	当日				
尿素呼気試験	UB	‰	2.4以下		赤外分光分析法					10分	当日				
TSH	甲	μIU/mL	0.35	4.94	CLIA法	インセパック <sub>α</sub> II-D	分離剤	0.5 mL		120分	4日間				
FT3	甲	pg/mL	1.68	3.67	CLIA法					120分	4日間				
FT4	甲	ng/dL	0.70	1.48	CLIA法					120分	4日間				
LH	ケ	mIU/mL	M	0.10	8.70					CLIA法	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間	
			F	卵泡期	1.20										13.30
				排卵期	1.30										55.70
				黄体期	0.50										16.50
閉経期	13.30	61.60													
FSH	ケ	mIU/mL	M	0.3以下	13.8					CLIA法	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間	
			F	卵泡期	2.2										11.5
				排卵期	2.1	18.6									
				黄体期	1.1	10.6									
閉経期	10.5	142.8													
PRL	ケ	ng/mL	M	3.7	16.3	CLIA法	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間					
			F	卵泡期	4.6						26.8				
				排卵期	6.0						40.9				
				黄体期	1.2						33.6				
				有経期	3.5						32.7				
閉経期	0.6	18.5													
コルチゾール	ケ	μg/dL	午前 7-9時	5.3	22.5	CLIA法	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間					
			午後 3-5時	3.4	16.8										
CPR	ア2	ng/mL	0.78	5.19	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間				

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑨

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
IRI	ア2	μU/mL	5.0	10.0	CLIA法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL		120分	4日間
IRI 抵抗性	ア2	無	1.60 以下		計算項目			0.5 mL		120分	4日間
IRI 分泌能	ア2	%	40.0 以上		計算項目			0.5 mL		120分	4日間
IRI 15分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 30分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 分泌指数	ア2	無	0.4 以上		計算項目			0.5 mL		120分	4日間
IRI 45分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 60分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 90分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 120分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI 180分後	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI①	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI②	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI③	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI④	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI⑤	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI⑥	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法	0.5 mL		120分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑩

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
IRI⑦	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法	インセパック ク。II-D	分離剤	0.5 mL		120分	4日間
IRI⑧	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI⑨	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
IRI⑩	ア2	μU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
CPR 15分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 30分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 45分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 60分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 90分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 120分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 150分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
CPR 180分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間
TSH 15分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
TSH 30分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
TSH 60分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
TSH 90分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査①

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
TSH 120分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法	インセパック ク。II-D	分離剤	0.5 mL		120分	4日間
TSH 150分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
TSH 180分	甲	μIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
LH 15分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 30分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 60分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 90分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 120分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 150分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
LH 180分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 15分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 30分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 60分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 90分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 120分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 150分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
FSH 180分	ケ	mIU/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑫

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
PRL 15	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法	インセパック ク。II-D	分離剤	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 30	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 60	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 90	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 120	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 150	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
PRL 180	ケ	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 15分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 30分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 60分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 90分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 120分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 150分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール 180分	ケ	μg/dL	無	無	CLIA法			0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
ICG-R 停滞率	Icg	%	10.0 以下		計算項目			0.5 mL	採血時間正確に	60分	4日間
ICG-K	Icg	無	0.1680	0.2060	計算項目			0.5 mL	採血時間正確に	60分	4日間
推定アルコール 濃度	生	mg/dL	19 以下		計算項目			0.5 mL		60分	4日間
ALBscore	生	無	無	無	計算項目	0.5 mL		60分	4日間		
Fib-4 Index	生	無	無	無	計算項目	0.5 mL		60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑬(尿)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間		
			下限	上限									
2時間尿 CRE	生	mg/dL	無	無	計算項目	トチチューブ	無	0.5 mL	蓄尿量	60分	4日間		
24時間 CCR/分	生	mL/min	70	130	計算項目			0.5 mL	身長・体重・蓄尿量	60分	4日間		
24時間 CCR/日	生	L/day	無	無	計算項目			0.5 mL	身長・体重・蓄尿量	60分	4日間		
尿中 NGAL	ア2	ng/mL	30.5 以下		CLIA 法	トチチューブ	ユリメジ ヤータブ レット	0.5 mL		120分	4日間		
蓄尿 CPR	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	蓄尿量記入 安定時間	120分	4日間		
蓄尿 CPR /day	ア2	μg/day	23.7	207.0	計算項目			0.5 mL	2日	120分	4日間		
U-CPR	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 15分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 30分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 45分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 60分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 90分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 120分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 150分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
尿中 CPR 180分	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL	安定時間 2日	120分	4日間		
コルチゾール尿	ケ	μg/dL	無	無	CLIA 法			トチチューブ	無	0.5 mL	安定時間 2日	60分	4日間
コルチゾール蓄尿	ケ	μg/dL	無	無	CLIA 法					0.5 mL	蓄尿量記入 安定時間	60分	4日間
コルチゾール蓄尿 [ /day]	ケ	μg/day	20.9	292.3	計算項目	0.5 mL	2日			60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑭ (尿)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
尿中 BMG	生	μg/L	無	199	ラテックス凝集法	トチチューブ	無	0.5 mL	安定時間 当日	60分	4日間
蓄尿 BMG	生	μg/L	無	無	ラテックス凝集法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿 BMG [/day]	生	μg/day	無	無	計算項目			0.5 mL	安定時間 当日	60分	4日間
尿中 IgG	生	mg/dL	無	無	免疫比濁法			0.5 mL		60分	4日間
蓄尿 IgG	生	mg/dL	無	無	免疫比濁法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿 IgG	生	g/day	無	無	計算項目			0.5 mL		60分	4日間
尿蛋白定量	生	mg/dL	無	無	ビロガ <sup>®</sup> ローレット法			0.5 mL	安定時間 当日	60分	4日間
早朝尿蛋白定量	生	mg/dL	無	無	ビロガ <sup>®</sup> ローレット法			0.5 mL	安定時間 当日	60分	4日間
尿 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化 対応法			0.5 mL		60分	4日間
尿 BUN	生	mg/dL	無	無	アゾニア消去法			0.5 mL		60分	4日間
尿 CRE	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
尿 UA	生	mg/dL	無	無	ウリカゼ <sup>®</sup> ・POD 法			0.5 mL		60分	4日間
尿 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択 電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
尿 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択 電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
尿 Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択 電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
尿 Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
尿 IP	生	mg/dL	無	無	酵素法	0.5 mL		60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑮ (尿)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
尿Mg	生	mg/dL	無	無	酵素法	トチチューブ	無	0.5 mL		60分	4日間
尿シロアルブミン	生	μg/mL	19.9以下		免疫比濁法			0.5 mL		60分	4日間
ALB/CRE	生	mg/g・CRE	29.99以下		計算項目				一部尿	60分	4日間
夜間ALB/CRE	生	mg/g・Cr	無	無	計算項目				夜間蓄尿量記入	60分	4日間
アルブミン排泄率	生	μg/min	無	無	計算項目				時間記入	60分	4日間
アルブミン指数	生	mg/g・Cr	無	無	計算項目					60分	4日間
蓄尿シロALB	生	μg/mL	無	無	免疫比濁法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿シロALB[day]	生	mg/day	29.99以下		計算項目				蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿ALB/CRE	生	mg/g・Cr	無	無	計算項目				蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿蛋白	生	mg/dL	無	無	ビロロールド法			0.5 mL	蓄尿量記入 安定時間 当日	60分	4日間
蓄尿蛋白[day]	生	g/day	0.020	0.120	計算項目				蓄尿量記入 安定時間 当日	60分	4日間
随時尿塩分摂取量	生	g/day	M	7.4以下	計算項目			0.5 mL	身長・体重記入	60分	4日間
			F	6.4以下							
蓄尿塩分摂取量	生	g/day	M	7.4以下	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
			F	6.4以下							
蛋白摂取量	生	g/day	無	無	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
蓄尿AMY	生	U/L	無	無	JSCC標準化 対応法	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間		
蓄尿BUN	生	mg/dL	無	無	アミノア消去法	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間		
蓄尿BUN[day]	生	g/day	15.00	30.00	計算項目	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑩ (尿)

項目名称	レベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
蓄尿 CRE	生	mg/dL	無	無	酵素法	トチチューブ	無	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 CRE[/day]	生	g/day	M	1.10	1.90			計算項目	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間
			F	0.50	1.60							
蓄尿 UA	生	mg/dL	無	無	リカゼン・POD法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 UA[/day]	生	g/day	0.40	0.60	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Na[/day]	生	g/day	4.0	6.0	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 K [/day]	生	g/day	2.00	2.50	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Cl[/day]	生	g/day	6.0	12.0	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Ca[/day]	生	g/day	0.100	0.300	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 IP	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 IP[/day]	生	g/day	0.500	2.000	計算項目			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Mg	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間	
蓄尿 Mg[/day]	生	g/day	0.05	0.14	計算項目	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	4日間			

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

尿蛋白/cre 比	生	g/gCr	0.14 以下		計算項目			0.5 mL	60 分	4 日間
NAG-尿	生	U/L	0.0	11.5	比色法	トチチューブ	無	0.5mL	60 分	4 日間
NAG 指数	生	IU/g・Cre	0.0	5.6	計算項目			0.5mL	60 分	4 日間

### 3.1 生化学・免疫検査⑰ (髄液)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
髄液蛋白定量	生	mg/dL	15	45	ビロガロールド法	滅菌中試験管	無	0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 LDH	生	U/L	21	62	IFCC 法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 Cl	生	mmol/L	120	130	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液アルブミン	生	mg/dL	無	無	BCP 改良法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 IgG	生	mg/dL	1.00	3.00	免疫比濁法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60 分	4 日間
髄液 BMG	生	µg/mL	無	無	ラテックス凝集法			0.5 mL	安定時間 当日	60 分	4 日間
髄液 CEA	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法	滅菌中試験管	無	0.5 mL		120 分	4 日間
髄液 CA19-9	ア2	U/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL		120 分	4 日間
髄液 AFP	ア2	ng/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL		120 分	4 日間
髄液 CA125	ア2	U/mL	無	無	CLIA 法			0.5 mL		120 分	4 日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑱ (胸水・腹水・穿刺液・他)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
胸水 AST	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法	滅菌中試験管	無	0.5 mL		60分	4日間
胸水 ALT	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 TG	生	mg/dL	無	無	酵素法 (遊離 Cho 除去)			0.5 mL		60分	4日間
胸水 CH50	生	U/mL	無	無	リボソーム免疫測定法			0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間
胸水蛋白定量	生	g/dL	無	無	ビウレット法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 LDH	生	U/L	無	無	IFCC 法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 ALP	生	U/L	無	無	IFCC 法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 IP	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 Mg	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 T-Cho	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
胸水 RF	生	IU/mL	無	無	ラテックス凝集法	0.5 mL		60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑱ (胸水・腹水・穿刺液・他)

項目名称	テール表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
胸水 CEA	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法	滅菌中試験管	無	0.5 mL		120分	4日間
胸水 CA19-9	ア2	U/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
胸水 AFP	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
腹水 TG	生	mg/dL	無	無	酵素法(遊離Cho除去)			0.5 mL		60分	4日間
腹水蛋白定量	生	g/dL	無	無	ビウレット法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 LDH	生	U/L	無	無	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 ALP	生	U/L	無	無	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 AMY	生	U/L	無	無	JSCC標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 IP	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 Mg	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 T-Cho	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 RF	生	IU/mL	無	無	ラテックス凝集法			0.5 mL		60分	4日間
腹水 T-Bil	生	mg/dL	無	無	酵素法	0.5 mL	安定時間 1日	60分	4日間		

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査⑳ (胸水・腹水・穿刺液・他)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
腹水 ALB	生	g/dL	無	無	BCP 改良法	滅菌中試験管	無	0.5 mL		60分	4日間
腹水 CEA	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
腹水 CA19-9	ア2	U/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
腹水 AFP	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
穿刺液 TG	生	mg/dL	無	無	酵素法(遊離Cho除去)			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 T-CHO	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 蛋白定	生	g/dL	無	無	ビウレット法			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 LDH	生	U/L	無	無	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 ALP	生	U/L	無	無	IFCC法			0.5 mL		60分	4日間
穿刺液 CEA	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
穿刺液 CA19-9	ア2	U/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
穿刺液 AFP	ア2	ng/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
胆汁 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法	インセパック。II-D	分離剤	0.5 mL		60分	4日間
胆汁 T-Cho	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
膝液 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間
排液 AMY	生	U/L	無	無	JSCC 標準化対応法			0.5 mL		60分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査②(胸水・腹水・穿刺液・他)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
関節液 RF	生	IU/mL	無	無	ラテックス凝集法	トチチューブ	無	0.5 mL		60分	4日間
透析液 Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
透析液 K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
透析液 Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
透析液 Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
透析液 Mg	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.1 生化学・免疫検査② (胸水・腹水・穿刺液・他)

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
CAPD 蛋白定量	生	mg/dL	無	無	ビロカ <sup>®</sup> ロレット <sup>®</sup> 法	トチチューブ	無	0.5 mL		60分	4日間
CAPD-BUN	生	mg/dL	無	無	アンモニア消去法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-CRE	生	mg/dL	無	無	ウリカゼ <sup>®</sup> ・HMPS法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-Na	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-Cl	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-K	生	mmol/L	無	無	イオン選択電極希釈法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-UA	生	mg/dL	無	無	ウリカゼ <sup>®</sup> ・POD法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-Ca	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-IP	生	mg/dL	無	無	酵素法			0.5 mL		60分	4日間
CAPD-BMG	生	μg/mL	無	無	ラテックス凝集法			0.5 mL	安定時間 当日	60分	4日間
CAPD-CA125	ア2	U/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間
CAPD-CA19-9	ア2	U/mL	無	無	CLIA法			0.5 mL		120分	4日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.2 血液学的検査①

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
WBC	血	X10 <sup>2</sup> /μL	33.0	86.0	フローサイトメトリ法	インセパック®II-D	EDTA-2K	2 mL	採血後4時間以内	60分	1日間
RBC		X10 <sup>4</sup> /μL	M	435	555				シースフローDC検出法		
			F	386	492						
HGB		g/dL	M	13.7	16.8				SLSヘモグロビン法		
			F	11.6	14.8						
HCT		%	M	40.7	50.1				シースフローDC検出法		
			F	35.1	44.4						
PLT		X10 <sup>4</sup> /μL	15.8	34.8	シースフローDC検出法						
MCV		fL	83.6	98.2	計算項目						
MCH		pg	27.5	33.2	計算項目						
MCHC		g/dL	31.7	35.3	計算項目						
RET [%]	%	0.80	2.20	フローサイトメトリ法							
RET	X10 <sup>4</sup> /μL	3.0	9.0	フローサイトメトリ法							
血液像機械	像	代表項目名			フローサイトメトリ法	インセパック®II-D	EDTA-2K	2 mL	採血後4時間以内	60分	1日間
NEUT		%	38.0	74.0							
LYMP			16.5	49.5							
MONO			2.0	10.0							
EOSI			0.0	8.5							
BASO			0.0	2.5							
血液像目視	像	代表項目名			メイ・ギムザ染色鏡検法	インセパック®II-D	EDTA-2K	2 mL	目視追加条件時実施 採血後4時間以内	当日～休日明	標本保存1年
Stb		%	0.5	6.5							
Seg			38.0	74.0							
LYMP			16.5	49.5							
MONO			2.0	10.0							
EOSI			0.0	8.5							
BASO			0.0	2.5							
NEUT X10 <sup>2</sup>	像		X10 <sup>2</sup> /μL	20.0	75.0	フローサイトメトリ法および計算	インセパック®II-D	EDTA-2K	2 mL	血液像機械法 目視法共通 採血後4時間以内	60分～休日明
LYMP X10 <sup>2</sup>		15.0		40.0							
MONO X10 <sup>2</sup>		2.0		8.0							
EOSI X10 <sup>2</sup>		0.4		4.0							
BASO X10 <sup>2</sup>		0.0		1.0							

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.2 血液学的検査②

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
APTT [sec]	AP	秒	24.0	34.0	凝固点検出法	インセパックII -W	クエン酸 Na3.2%	1.8 mL	採血量厳守 (容器のラインまで採血) 採血後4時間以内	60分	1日間	
PT [sec]	PT	秒	9.8	12.1	凝固点検出法							
PT-ACT [%]		%	70	130	凝固点検出法							
PT-INR		無	0.85	1.15	計算							
フィブリノーゲン		Fg	mg/dL	200	400							凝固点検出法
FDP	FD	μg/mL	5.0 以下		ラテックス凝集比濁法							
Dダイマー	DD	μg/mL	1.0 以下		ラテックス凝集比濁法							
AT 活性	AT	%	80.0	130.0	合成其質法							
出血時間	出	分.秒	1分~5分		Duke 法	無	無	止血状況依存	血液検査に連絡 10分以上止血しない場合は10分以上と報告	30分	無	
血小板凝集能	凝	最大凝集率%	無	無	光透過法	自家調整採血容器	クエン酸 Na3.8%	7.2 mL	要予約	90分	1日間	
血沈	沈	代表項目名			赤外線検知法	モノセッド V-S アダプター 付き	クエン酸 Na3.2%	1.28 mL	採血量厳守 採血後4時間以内	60分	1日間	
血沈1時間値		mm	M	2								10
血沈2時間値			F	3								15
		mm	M	無	無							
			F									
トポニンT	ト	無	(-)		仏ノクロマトグラフィ法	BDバキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL	採血後8時間以内	30分	1日間	
H-FABP (レビチェック)	レ	無	(-)		仏ノクロマトグラフィ法	BDバキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL		30分	1日間	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.2 血液学的検査③

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
NAP-RATE	NA	%	65	95	ALP 染色目視判定	BD バキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL	採血後直ちに検査科に提出	当日	1 日間
NAP-SCORE	P	無	170	370							1 日間
PB-POX	染	無	無	無	ペルキシングゼ染色	BD バキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL		当日	1 日間
PB-EST	染	無	無	無	エステラゼ染色	BD バキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL		当日	1 日間
PB-PAS	染	無	無	無	PAS 染色	BD バキュテ イナ採血管	EDTA-2K	2 mL		当日	1 日間
BM-POX	染	無	無	無	ペルキシングゼ染色	無	無	骨髓液 少量		当日	1 日間
BM-EST	染	無	無	無	エステラゼ染色	無	無	骨髓液 少量		当日	1 日間
BM-Fe	染	無	無	無	鉄染色	無	無	骨髓液 少量		当日 数日	1 日間
BM-PAS	染	無	無	無	PAS 染色	無	無	骨髓液 少量		当日	1 日間
骨髓有核細胞数	BM	X10 <sup>4</sup> /μL	10.0	25.0	ビュルケル計算盤 算定	RI チューブ	チュルク液	骨髓液 10 μL		60 分	1 日間
骨髓巨核球数	BM	/μL	50	150	フックスローゼンタル計算 盤算定	RI チューブ				60 分	1 日間
骨髓像	BM	%	代表項目名		メイ・ギムザ染色 鏡検法	無	無	骨髓液 少量	骨髓穿刺実施時間を血液検査に 連絡	当日 数日	標本 保存 6年
Myeloblasts			0.1	0.7							
Promyelo			1.9	4.7							
Myelo			8.5	16.9							
Metamyelo			7.1	24.7							
Stb			9.4	15.4							
Seg			3.8	11.0							
Eo series			1.1	5.2							
Baso series			0	0.1							
Pro erythro			0.1	1.1							
Baso erythro			0.4	2.4							
Poly erythro			13.1	30.1							
Orthoerythro			0.3	3.7							
Lympho			8.6	23.8							
Plasma			0	3.5							
Mono			0	0.6							
Mgk	0.0	0.1									
M/E	1.1	3.5									

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.3 輸血検査

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
血型-ABO	型	無	無		カラム法 試験管法	BDバキュテイン採血管	EDTA-2K	2 mL		60分 *注	1日間
血型-Rh(D)	型	無	無		カラム法 試験管法						
血型不適妊娠	妊	無	無		試験管法	BDバキュテイン採血管	EDTA-2K	2 mL		当日* 注	1日間
直接ケムス試験	直	無	(-)		カラム法 試験管法	インセパック®II-D	EDTA-2Na	6.5 mL		60分 *注	1日間
間接ケムス試験	間	無	無		カラム法 試験管法	インセパック®II-D	EDTA-2Na	6.5 mL		60分 *注	1日間
不規則性抗体	不	無	無		カラム法 試験管法	インセパック®II-D	EDTA-2Na	6.5 mL		60分 *注	4日間
交差適合試験	交	無	無		カラム法 試験管法	インセパック®II-D	EDTA-2Na	6.5 mL	通常	60分 *注	4日間
					未実施 *注				緊急度1 0型ノクロスマッチ	5分～ 10分	
					生理食塩水法 *注				緊急度2 同型生食法	15分 ～20分	
					カラム法 試験管法				緊急度3 同型フルクロスマッチ	60分	

#### \*注記

- (1) 血液型検査で異常反応を示した場合、精査に時間がかかることがあります。
- (2) 間接ケムス試験において不規則抗体が検出された場合、精査に時間を要することがあります。
- (3) 交差適合試験において不規則抗体が検出された場合、精査と適合血の準備に時間を要することがあります。
- (4) 不規則抗体を保有する受血者の適合血の準備には時間を要することがあります。早めの依頼をお願いします。
- (5) 交差適合試験において緊急度1、緊急度2の対応をした場合、輸血製剤出庫後に通常方法での交差適合試験を実施し、結果を報告します。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.4 血液ガス

項目名称	パル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
血液ガス分析	GS	代表項目名							体温入力 FiO2 入力		
pH	GS		7.350	7.450	電位差測定法						
p CO <sub>2</sub>	GS	mmHg	32.0	48.0	電位差測定法						
p O <sub>2</sub>	GS	mmHg	83.0	108.0	電流測定法						
HCO <sub>3</sub>	GS	mmol/L	21.0	28.0	計算項目						
ABE	GS	mmol/L	-3.0	-2.0	計算項目						
t CO <sub>2</sub>	GS	mmol/L	無	無	計算項目						
t O <sub>2</sub>	GS	mL/dL	15.8	22.3	計算項目						
t Hb	GS	%	12.0	17.5	可視吸光分光法						
Hct	GS	%	無	無	可視吸光分光法						
O <sub>2</sub> Hb	GS	%	94.0	98.0	可視吸光分光法						
COHb	GS	%	0.5	1.5	可視吸光分光法	血液ガス専用シリンジ	ヘパリン	1 mL		5分	15分
Me t Hb	GS	%	0.0	1.5	可視吸光分光法						
HHb	GS	%	無	無	可視吸光分光法						
sO <sub>2</sub>	GS	%	95.0	99.0	可視吸光分光法						
Na	GS	mmol/L	136	146	電位差測定法						
K	GS	mmol/L	3.4	4.5	電位差測定法						
CL	GS	mmol/L	98	106	電位差測定法						
Ca <sup>++</sup>	GS	mmol/L	1.15	1.29	電位差測定法						
AnionGap	GS	mmol/L	無	無	計算項目						
Glu	GS	mg/dL	65	95	電流測定法						
Lac	GS	mmol/L	0.36	0.75	電流測定法						

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.5 血糖・尿糖

項目名称	パル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
空腹時血糖	糖	mg/dL	73	109	GOD 電極法	血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL		60分	3日間
随時血糖	糖	mg/dL	73	109	GOD 電極法	血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL		60分	3日間
血糖 前	糖	mg/dL	73	109	GOD 電極法	血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL	OGTT	60分	3日間
血糖 60分	糖	mg/dL	無	179		血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL		60分	3日間
血糖 120分	糖	mg/dL	無	139		血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL		60分	3日間
HbA1c	A1	%	4.3	5.8	HPLC 法	血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL	2013.4.1NGSP に変更	60分	3日間
A1c-NGSP	A1	%	4.9	6.0	HPLC 法	血糖検査用	EDTA2K ・NaF	1.0 mL		60分	3日間
尿糖定量	糖	g/dL	0.002	0.020	GOD 電極法	尿コップ	無	0.5 mL		60分	5日間
尿糖 前	糖	g/dL	0.002	0.020		尿コップ	無	0.5 mL		60分	5日間
尿糖 60分	糖	g/dL	無	無		尿コップ	無	0.5 mL		60分	5日間
尿糖 120分	糖	g/dL	無	無		尿コップ	無	0.5 mL		60分	5日間
蓄尿 糖	糖	g/day	0.040	0.085	GOD 電極法	尿コップ	無	0.5 mL	蓄尿量記入	60分	5日間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.6 尿一般・便一般・体液穿刺液検査①

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
尿定性	定	代表項目名									
尿色調	定	無	/		比色法						
尿混濁	定	無	(-)		比色法						
尿比重	定	無	1.006	1.030	屈折計法						
尿pH	定	無	4.5	7.5	試験紙法						
尿蛋白定性	定	無	(-)		試験紙法						
尿蛋白半定量	定	mg/dL	/		試験紙法						
尿糖定性	定	無	(-)		試験紙法						
尿糖半定量	定	mg/dL	/		試験紙法						
ウビリカゲン	定	無	(±)		試験紙法						
ウビリカゲンQT	定	mg/dL	/		試験紙法	尿コップ	無	10 mL	安定時間 4時間	60分	1日間
尿ビリルビン	定	無	(-)		試験紙法						
尿ビリルビンQT	定	mg/dL	/		試験紙法						
尿ケトン体	定	無	(-)		試験紙法						
尿ケトン体QT	定	mg/dL	/		試験紙法						
尿白血球	定	無	(-)		試験紙法						
尿白血球QT	定	cell/uL	/		試験紙法						
尿亜硝酸塩	定	無	(-)		試験紙法						
尿亜硝酸塩QT	定	mg/dL	/		試験紙法						
尿潜血反応	定	無	(-)		試験紙法						
尿潜血反応QT	定		/		試験紙法						

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.6 尿一般・便一般・体液穿刺液検査②

項目名称	パル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
尿沈渣	渣	無	白血球4/HPF 以下 赤血球4/HPF 以下		鏡検法	尿コップ	無	10 mL	代表項目名安定時間4時間	60分	1日間
尿ヘムグデリン	用	無	(-)		ベルリン青染色	尿コップ	無	10 mL	用手法	60分	1日間
赤血球変形率	変	%			鏡検法	尿コップ	無	10 mL	用手法	60分	1日間
蓄尿比重	定	無			屈折計法	トチチューブ	無	1 mL	用手法蓄尿量記入	60分	5日間
尿浸透圧	圧	mOsm/kg H <sub>2</sub> O	50	1300	氷点降下法	尿コップ	無	0.5 mL		60分	5日間
血清浸透圧	圧	mOsm/kg H <sub>2</sub> O	270	290	氷点降下法	黄色キャップ ヘモグロビンプラス SST II 5mL (368640)	分離剤	0.5 mL		60分	5日間
妊娠反応	妊	無	(-)		イムノクロマトグラフィ法	尿コップ	無	1.0 mL	用手法	60分	1日間
乳汁左CEA	用	ng/mL			イムノクロマトグラフィ法	試薬キット 付属キャピラリー			用手法	60分	1週間
乳汁右CEA	用	ng/mL					3 µL	60分		1週間	
子宮頸管頸E	用	無	(-)		ラテックス着色法	滅菌綿棒	無	分泌液	採取後15分以内	60分	1週間

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.6 尿一般・便一般・体液穿刺液検査③

項目名称	パル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間	
			下限	上限								
便色調	色	無	黄褐色		目視判定	滅菌コップ	無	拇指頭大	用手法	60分	1週間	
便性状	状	無	/		目視判定	滅菌コップ	無	拇指頭大	用手法	60分	1週間	
虫卵(塗抹)	卵	無	(-)		鏡検法	滅菌コップ	無	拇指頭大	用手法	60分	1週間	
虫卵(加ハ法)	卵	無	(-)		鏡検法	蟯虫検査用 セロハン	無	/	用手法	60分	1週間	
原虫鑑別	虫	無	(-)		鏡検法	滅菌コップ	無	拇指頭大	用手法	60分	1週間	
寄生虫体鑑別	虫	無	(-)		鏡検法	滅菌コップ	無	虫体	用手法	60分	1週間	
便潜血1日目	OC	無	(-)		免疫法	メーカー指定採便容器	ヘパス緩衝液	添付説明書参照	冷所で保存し 5日以内	60分	1週間	
便潜血1日目C	OC	ng/mL	/							150		60分
便潜血2日目	OC	無	(-)							60分		
便潜血2日目C	OC	ng/mL	/							150		60分
アプト試験	Apt	無	/		用手法	/	無	/	用手法	60分	1日間	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.6 尿一般・便一般・体液穿刺液検査④

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
胸水糖定量	糖	mg/dL	無	無	GOD 電極法	滅菌中試験管	検体 10 mL に対し、ペリン 0.5 mL の割合で添加	12.5 mL		60分	1週間
胸水色調	用	無	無	無	目視判定				用手法	60分	
胸水比重	用	無	無	無	屈折計法					60分	
胸水混濁	用	無	無	無	目視判定				用手法	60分	
胸水潜血	血	無	無	無	試験紙法					60分	
胸水細胞数	数	/uL	無	無	計算盤カウント				用手法	60分	
胸水種類	類	無	無	無	MG 染色				用手法	1~3日	
胸水 pH	PH	無	無	無	試験紙法					60分	
腹水糖定量	糖	mg/dL	無	無	GOD 電極法	滅菌中試験管	検体 10 mL に対し、ペリン 0.5 mL の割合で添加	12.5 mL		60分	1週間
腹水色調	用	無	無	無	目視判定				用手法	60分	
腹水比重	用	無	無	無	屈折計法					60分	
腹水混濁	用	無	無	無	目視判定				用手法	60分	
腹水潜血	血	無	無	無	試験紙法					60分	
腹水細胞数	数	/uL	無	無	計算盤カウント				用手法	60分	
腹水種類	類	無	無	無	MG 染色				用手法	1~3日	
腹水結晶	晶	無	無	無	鏡検法				用手法	60分	
腹水 pH	PH	無	無	無	試験紙法					60分	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.6 尿一般・便一般・体液穿刺液検査⑤

項目名称	ラベル表示	単位	基準値		方法	容器	添加剤	検体必要量	備考	報告時間	保存期間
			下限	上限							
髄液色調	色	無	無色透明		目視判定	滅菌中試験管	無	3 mL	用手法	30分	1週間
髄液糖定量	糖	mg/dL	50	75	GOD電極法				30分		
髄液細胞数	数	/3	0	15	フックスローゼンター ル法				用手法	30分	
		/ $\mu$ L	0	5							
穿刺液糖定量	糖	mg/dL	無	無	GOD電極法	滅菌中試験管	検体 10mLに 対しヘ パリン 0.5mL の割合 で添加	12.5 mL	用手法	60分	1週間
穿刺液色調	用	無	無	無	目視判定				60分		
穿刺液比重	用	無	無	無	屈折計法				60分		
穿刺液混濁	用	無	無	無	目視判定				60分		
穿刺液潜血	血	無	無	無	試験紙法				60分		
穿刺液細胞数	数	/ $\mu$ L	無	無	計算盤カウント				用手法	60分	
穿刺液種類	類	無	無	無	MG染色				用手法	1日 ~3 日	
関節液結晶	晶	代表項目名			偏光鏡検法				滅菌中試験管	無	
関節液 <sup>+</sup> リン酸 Ca		無	(-)								
関節液尿酸Na		無	(-)								
CAPD糖定量	糖	mg/dL	無	無	GOD電極法	尿コップ	無	10 mL	用手法	60分	当日
CAPD赤血球	赤	無	無	無	鏡検法				60分		
CAPD白血球数	白	/ $\mu$ L	0	5	計算盤算定				60分		
CAPD種類	類	無	無	無	鏡検法 M G染色				用手法	1日 ~3 日	
CAPD白血球 (像)	像	無	無	無	鏡検法 M G染色	尿コップ	無	10 mL	用手法	1~3 日	当日

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査①（基準値：微生物学的検査⑫参照）

検査項目		検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
塗抹検査	グラム染色	Bartholomew & Mittwer 改良法	5.7 参照	5.7 参照	採取可能量	1時間～24時間	標本保存から2週間
塗抹検査	抗酸菌染色	チールネルゼン法	5.7 参照	5.7 参照	採取可能量	1～時間24時間	標本保存から1か月
塗抹検査	好酸球染色	ハンセル染色	P S200 ccネジコップ 滅菌済み (尿・便・喀痰)	無し	採取可能量	1時間～24時間	標本保存から2週間
			フロックスワブ (鼻腔用)				
培養同定		1) MicroScan WalkAway96SI : 従来法や発色法の変法 2) 簡易同定キット : 乾燥基質利用と数値同定法	分離菌を用いるため該当なし	分離菌を用いるため該当なし	分離菌を用いるため該当なし	1日～14日	3日
薬剤感受性		微量液体希釈法	分離菌を用いるため該当なし	分離菌を用いるため該当なし	分離菌を用いるため該当なし	1日～14日	3日
嫌気培養		嫌気ジャー法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1日～14日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が14日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査②

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間	
口腔気道 検体	喀痰	分離培養法	無し	採取可能量	1日～14 日	3日	
		滅菌気管吸引用セット ショートタイ プチューブ					
口腔気道 検体	気管洗浄液 BAL/キレット	分離培養法	気管吸引用キット	無し	採取可能量	1日～14 日	3日
口腔気道 検体	気管擦過物	分離培養法	気管吸引用キット	無し	採取可能量	1日～14 日	3日
口腔気道 検体	気切ガーゼ	分離培養法	P S200 ccネジコップ 滅菌済み	無し	採取可能量	1日～14 日	3日
口腔気道 検体	咽頭粘液	分離培養法	シードスワブ®γ 3号 ‘栄研	変法アミーズ培地	採取可能量	1日～14 日	3日
口腔気道 検体	鼻腔粘液	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	鼻腔粘液 (MRSA 保菌検査)	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	上咽頭粘液	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	扁桃粘液	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	舌苔	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	鼻汁	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日
口腔気道 検体	副鼻腔	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1～14 日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が14日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査③

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間	
消化器検体	糞便	分離培養法	P S200 ccネジコップ 滅菌済み	無し	拇指頭大	1～14日	3日
消化器検体	大腸粘膜	増菌培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	肛門周囲膿瘍	分離培養法	シードスワブ®γ 3号 ‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	胃粘膜	増菌培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	食道粘膜	増菌培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	胆汁	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	胃液	分離培養法	滅菌容器	無し	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	十二指腸液	分離培養法 定量培養法	滅菌容器	無し	採取可能量	1～14日	3日
消化器検体	胃内容物	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が14日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査④

検査項目		検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
泌尿器検体	尿	分離培養法	PS200 ccネジコップ 滅菌済み	無し	採取可能量	1～14日	3日
泌尿器検体	尿道分泌物	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	膣分泌物	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	頸管分泌物	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	子宮内容物	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	外陰部膿	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
生殖器検体	ダグラス窩	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
生殖器検体	バルトリン腺膿	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1～14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
生殖器検体	羊水	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	精液	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日
生殖器検体	陰嚢水腫液	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1～14日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が14日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑤

検査項目		検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
血液・穿刺液検体	血液	増菌培養法	FA Plus 培養ボトル (好気用) FN Plus 培養ボトル (嫌気用) PF Plus 培養ボトル (小児用)	吸着ポリマービーズ	FA Plus : 5 mL~10 mL FN Plus : 5 mL~10 mL PF Plus : 1 mL~4 mL	1~14 日	3 日
血液・穿刺液検体	髄液	分離培養法	滅菌スクリー試験管 キャップ付き	無し	採取可能量	1~14 日	3 日
血液・穿刺液検体	穿刺液	分離培養法	滅菌スクリー試験管 キャップ付き	血性検体の場合は抗凝固剤 (クエン酸) 添加 検体 : 抗凝固剤=9 : 1	採取可能量	1~14 日	3 日
その他	CAPD 出口部	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1~14 日	3 日
その他	CAPD 排液	分離培養法	遠沈管 CT-50B 50ml エカル Dnase/Rnase フリ-キャップ 付	無し	採取可能量	1~14 日	3 日
その他	CAPD 排液	増菌培養法	FA Plus 培養ボトル FN Plus 培養ボトル	吸着ポリマービーズ	FA Plus : 5 mL~10 mL FN Plus : 5 mL~10 mL	1~14 日	3 日
その他	ドレーン	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14 日	3 日
その他	耳漏	分離培養法	BD BBL カルチャースワブ プラス	アミーズ輸送培地	採取可能量	1~14 日	3 日
その他	中耳貯留物	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14 日	3 日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が 14 日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑥

検査項目		検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
その他	扁桃周囲膿瘍	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14日	3日
その他	眼脂	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
その他	結膜	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
その他	褥瘡	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
その他	臍	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
その他	乳汁	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
その他	分泌物	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
その他	浸出液	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
その他	カテーテル	分離培養法	滅菌スクリュー試験管 キャップ付き	無し	先端部分を5~6cm	1~14日	3日
その他	開放性膿	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			
その他	非開放性膿	分離培養法	シードスワブ®γ3号‘栄研’	変法アミーズ培地	採取可能量	1~14日	3日
			ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天			

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告時間が14日を超過する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑦

検査項目		検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
その他	組織	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14日	3日
その他	骨	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14日	3日
その他	骨髄	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14日	3日
その他	滑膜	分離培養法	ケンキポーター®II	インジケーター付き寒天	採取可能量	1~14日	3日
健診 便培養		分離培養法 (SS、STEC)	P S200 ccネジコップ 滅菌済み	無し	採取可能量	2日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。
- 目的菌に応じて報告完が14日を超過する場合があります。

### 3.7 微生物学的検査⑧

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	報告時間	保存期間
抗酸菌培養	小川培地及びピット培地 (N-アセチル-L-システイン・水酸化ナトリウム (NALC-NaOH) 法)	5.7 参照	5.7 参照	呼吸器材料：≥1 mL 尿：≥3 mL 生殖器材料：≥1 mL 便：拇指頭大 無菌材料：≥1 mL 血液：5 mL その他：≥1 mL	1~12週	3日
抗酸菌核酸同定	TRC (Transcription Reverse transcription Concerted Reaction) 法	5.7 参照	5.7 参照	呼吸器材料：≥1 mL 尿：≥3 mL 生殖器材料：≥1 mL 便：拇指頭大 無菌材料：≥1 mL 血液：5 mL その他：≥1 mL	1~7日	3日

- 必要に応じて保存期間を延長する場合があります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑨

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	基準値	報告時間	保存期間
ノロウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	Ex スワブ 003T	無し	肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入	陰性	30分	3日
便中ロタウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	滅菌綿棒 P6S-K	無し	排泄便：くびれより先を軽く覆う程度。 直腸便：肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入し採取。	陰性	30分	3日
便中アデノウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	滅菌綿棒 P6S-K	無し	排泄便：くびれより先を軽く覆う程度 直腸便：患者肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入し採取。	陰性	30分	3日
便中CD抗原 便中CD トキシン A/B	免疫クロマトグラフ法	P S200 ccネジコップ 滅菌済み	無し	拇指頭大	陰性	30~50分	3日
RSウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (鼻腔用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
ヒトメタニューモウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (鼻腔用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
A群β溶連菌迅速	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (咽頭用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
咽頭アデノウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (咽頭用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
角結膜アデノウイルス抗原	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (咽頭用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
マイコプラズマ抗原	免疫クロマトグラフ法	フロックスワブ (咽頭用)	無し	採取可能量	陰性	30分	3日
インフルエンザウイルス抗原 A・B	免疫クロマトグラフ法	ニプロスポンジスワブ	無し	採取可能量	陰性	30分	3日
血清クリプトコッカス抗原	ラテックス凝集法	インセバック®II-D	凝固促進剤 分離剤	≥0.5mL	陰性	90分	3日
髄液クリプトコッカス抗原	ラテックス凝集法	滅菌スクリー試験管 キャップ付き	無し	≥0.5mL	陰性	90分	3日

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑩

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	基準値	報告時間	保存期間
尿中肺炎球菌 莢膜抗原	免疫クロマトグラフ法	P S200 ccネジコップ 滅菌済み(迅速検査のみの場合、JA尿コップでも可)	無し	5.0 mL	陰性	20分	3日
尿中レジオネラ 抗原	免疫クロマトグラフ法	P S200 ccネジコップ 滅菌済み(迅速検査のみの場合、JA尿コップでも可)	無し	5.0 mL	陰性	20分	3日
髄液中肺炎球菌 莢膜抗原	免疫クロマトグラフ法	滅菌スクリュー試験管 キャップ付き	無し	5.0 mL	陰性	20分	3日
β-D-グルカン	比濁時間分析法	血液：ベノジェクトII真空採血管	ヘパリンナトリウム	1 mL～3 mL	陰性	120分	3日
		髄液：滅菌スクリュー試験管 キャップ付き	無し				

### 3.7 微生物学的検査⑪

検査項目	検査方法	容器	添加剤	検体必要量	基準値	報告時間	保存期間
インフルエンザウイルス抗原A・B 新型コロナウイルス SARS-CoV-2 抗原 同時測定	免疫クロマトグラフ法	FLOQ スワブ (鼻腔用)	無し	採取可能量	陰性	20分	3日
新型コロナウイルス PCR	RT-PCR 法	FLOQ スワブ (鼻腔用)	PBS	採取可能量	陰性	5時間～9時間(当日提出検体)	5日
		P S200 ccネジコップ 滅菌済み(喀痰) 滅菌気管吸引用セット ショートタイプチューブ(喀痰)	無し				
新型コロナウイルス SARS-CoV-2 / ID NOW	NEAR 法	FLOQ スワブ (鼻腔用)	無し	採取可能量	陰性	40分	3日

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 3.7 微生物学的検査⑫

#### 表1. 染色

検査項目	検査材料	基準値
グラム染色 (Bartholomew & Mittwer 改良法)	口腔気道検体 (上気道)	菌は確認できない。もしくは、口腔内常在菌が観察される。
	口腔気道検体 (下気道)	菌は確認できない。もしくは、口腔内常在菌が観察される。
	消化器検体	常在菌が観察される。
	泌尿器検体	菌は確認できない。もしくは、常在菌が観察される
	生殖器検体	菌は確認できない。もしくは、常在菌が観察される
	血液・穿刺液検体 (血液、髄液、穿刺液)	陰性
	その他 (開放性膿、非開放膿等の膿瘍検体)	菌は確認できない。もしくは、皮膚由来常在菌が観察される場合がある。
	その他 (カテーテル、ドレーン、CAPD 排液、組織、骨、骨髄、滑膜)	陰性
抗酸菌染色 (チールネルゼン染色)	各種検査材料	陰性

#### 表2. 培養

検査項目	基準値
一般細菌同定検査	該当なし。
一般細菌薬剤感受性検査	該当なし。
口腔気道検体 (上気道)	起炎菌陰性。通常、口腔内常在菌が検出される。
口腔気道検体 (下気道)	起炎菌陰性。通常、口腔内常在菌が検出される。
消化器検体	起炎菌陰性。通常、常在菌が検出される。
泌尿器検体 (腎盂尿、中間尿、カテーテル尿)	起炎菌陰性。 正しい採尿が行われた場合、健常人はNo growthであり、尿路感染症の原因菌や <i>Neisseria gonorrhoeae</i> , <i>Salmonella</i> spp., <i>Mycobacterium tuberculosis</i> , <i>Leptospira</i> などの病原菌を検出しない。 採尿手順を守らなかった場合、カテーテル留置例では、CNS、Viridans - <i>Streptococcus</i> , <i>Corynebacterium</i> spp. などの皮膚常在菌が検出される事がある。
生殖器検体	起炎菌陰性。通常、常在菌が検出される。 一般に常在菌としては、膣の常在菌である <i>Lactobacillus</i> spp. 皮膚の常在菌である CNS、 <i>Bacteroides</i> spp. 大腸菌群が検出される。 GBS が検出されることがあるが、GBS は新生児に重篤な感染症を起こすことがあるため注意する。また月経周期により常在菌叢は変化する。
血液・穿刺液検体	起炎菌陰性。細菌は検出されない。
その他 (開放性膿、非開放性膿等の膿瘍検体)	起炎菌陰性。若しくは、常在菌のみの検出。 舌苔・歯肉の膿：通常、病原細菌は検出されない、若しくは口腔内常在菌が検出される。 膿 (開放性)、膿 (閉塞性)、耳漏、眼脂：原則的に無菌的に検体採取を行うが、汚染が避けられないことが多いため、培養陽性の際は、その判断は慎重に行う必要がある。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

その他(カテーテル、ドレーン、CAPD 排液、組織、骨、骨髄、滑膜)	起炎菌陰性。細菌は検出されない。
------------------------------------	------------------

表3. 尿培養結果の解釈

採尿方法または患者状態	尿路感染が示唆される所見		尿路感染症が否定される所見(起炎菌と汚染菌の尿中菌数の比較等)	検出菌が起炎菌と解釈される他の所見
	代表的な起炎菌の尿中菌数(CFU/mL)	尿中白血球		
中間尿(女性)膀胱炎症状あり	$>10^2$	(+)	代表的な起炎菌の菌数 $\leq$ 汚染(常在)菌	
中間尿(女性)腎盂炎症状あり	$>10^5$	(+)	代表的な起炎菌の菌数 $\leq$ 汚染(常在)菌	塗抹検査で起炎菌と推定される菌の食食像、または細菌円柱が認められる。
中間尿無症候性細菌尿	$>10^5$	(-)	全体の菌数： $<10^5$ CFU/mL で代表的な起炎菌の菌数 $\leq$ 汚染(常在)菌	臨床的に感染が推定される時期に検査を繰り返して確認。
中間尿(男性)尿路感染症状あり。	$>10^3$	(+)	全体の菌数： $<10^3$ CFU/mL で代表的な起炎菌の菌数 $\leq$ 汚染(常在)菌	塗抹検査で起炎菌と推定される菌の食食像、または細菌円柱が認められる。
カテーテル採尿	$>10^2$	有症者で(+)	代表的な起炎菌の菌数： $<10^2$ CFU/mL で尿中エラスターゼ検査(-)	同上
膀胱留置カテーテル採尿	$>10^3$ (複数菌検出)		無症候性尿患者、尿中白血球エラスターゼ検査は(+) または(-)	

出典：編修 小栗豊子. 臨床微生物検査ハンドブック IV検査材料別検査法と検出菌 尿(中間尿、カテーテル尿、膀胱穿刺尿など). 第5版. 東京：三輪書店；2017. p59 表IV-10 尿培養検査における検出菌の解釈より抜粋



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 4. 検査依頼方法

##### 4.1 検体検査

(1) 電子カルテシステム ナビゲーションマップ オーダの中から **検体検査** を選択します。



(2) 基本セットからセットの選択または各検査項目を選択します。



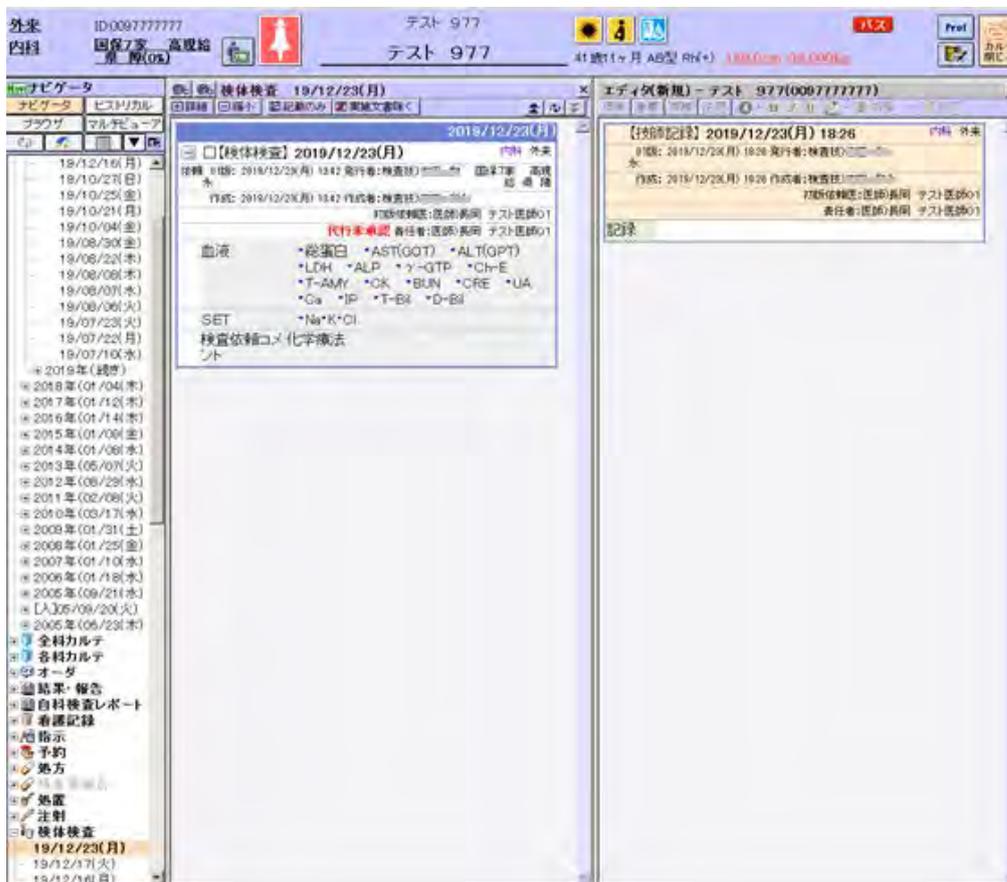
文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(3) 必要に応じて、依頼コメントを入力してください。



(4) **確定** をクリックしてください。

(5) 電子カルテ 検体検査依頼完了画面 (見本)



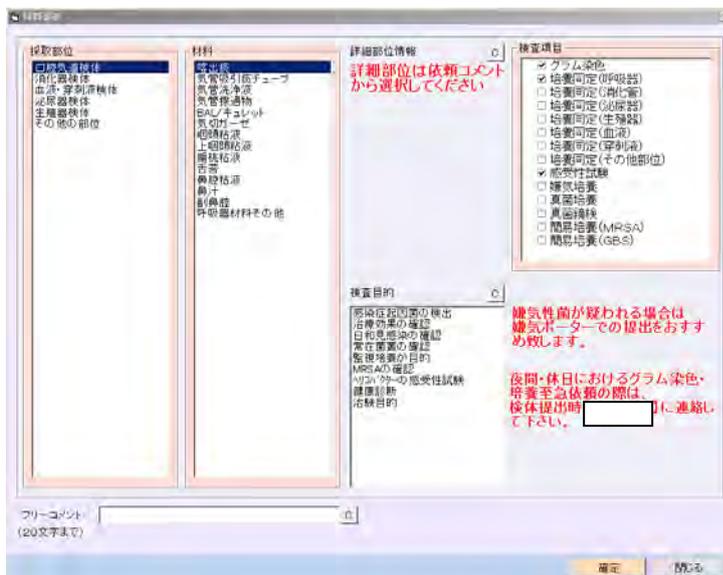
文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 4.2 一般細菌検査

(1) 電子カルテシステム ナビゲーションマップ オーダの中から **一般細菌検査** を選択します。



(2) 採取部位、材料、検査目的、検査項目を選択してください。



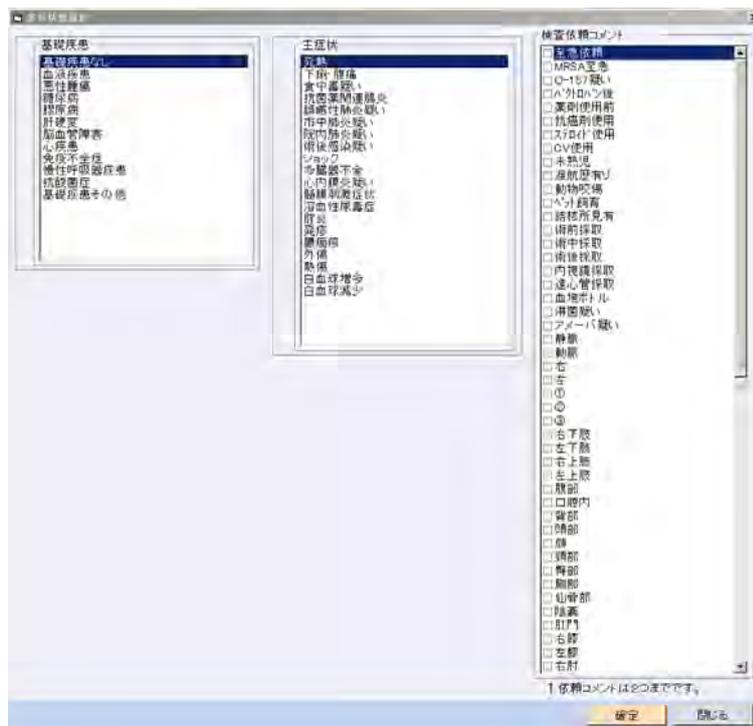
(3) **確定** をクリックしてください。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(4) 基礎疾患・主症状・依頼コメント、使用中抗菌剤、目的菌をクリックし、該当項目を選択してください。  
 {それぞれ下記の (5) (6) (7) 参照}



(5) 基礎疾患・主症状・依頼コメント (該当項目を選択) **確定** をクリックしてください。



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(6) 使用中抗菌剤 (該当項目を選択) **確定** をクリックしてください。

(7) 目的菌 (該当項目を選択) **確定** をクリックしてください。

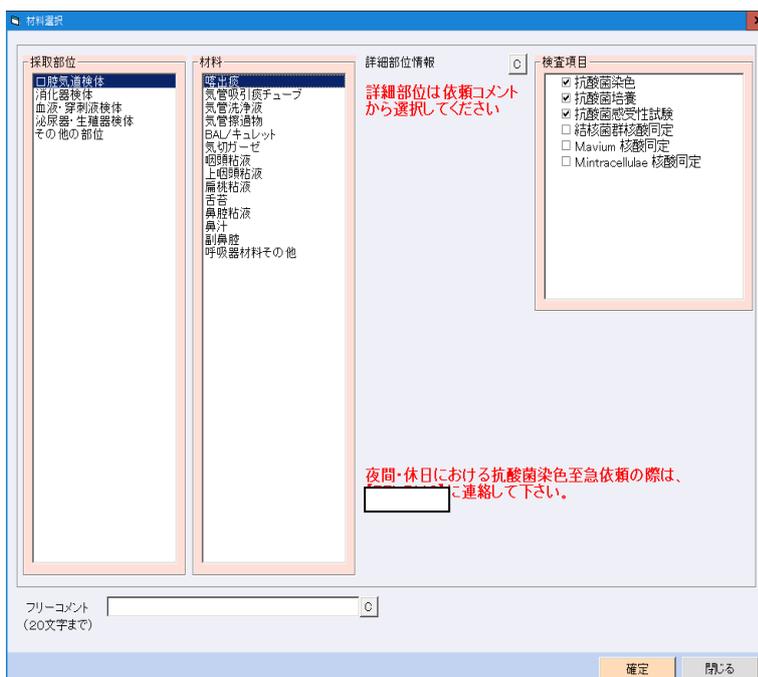
文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 4.3 抗酸菌

(1) 電子カルテシステム ナビゲーションマップ オーダの中から **抗酸菌検査** を選択します。



(2) 採取部位、材料、検査目的、検査項目を選択してください。

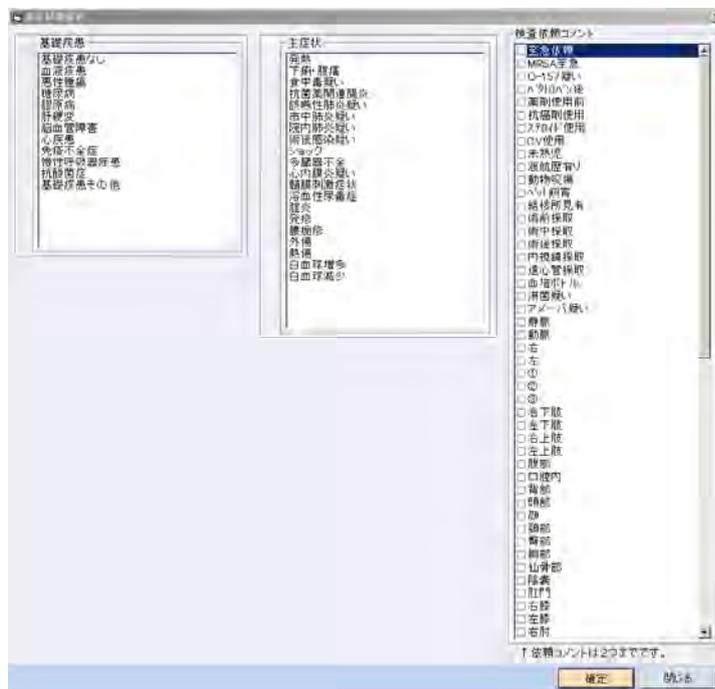


文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(3) 基礎疾患・主症状・依頼コメントをクリックし、以下(4)の画面から該当項目を選択してください。



(4) 基礎疾患・主症状・依頼コメント(該当項目を選択) **確定** をクリックしてください。



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(5) 電子カルテ 一般細菌検査・抗酸菌検査依頼完了画面 (見本)

The screenshot displays a medical information system interface. At the top, the patient's name is '鈴木 鈴木' (Suzuki Ritsuki) and the department is '内科' (Internal Medicine). The main area shows a calendar for September 2022, with the 15th highlighted. Below the calendar, a list of test orders is visible:

- 【技師記録】 2022/09/15(木) 10:53** (内科 外来)
  - 01版: 2022/09/15(木) 10:53 検査技
  - 作成: 2022/09/15(木) 10:53 作成者: 検査技
  - 初版依頼医: 検査技
- 【抗酸菌検査】 2022/09/15(木)** (内科 外来)
  - 依頼 01版: 2022/09/15(木) 10:44 検査技
  - 作成: 2022/09/15(木) 10:44 作成者: 検査技
  - 初版依頼医: 検査技

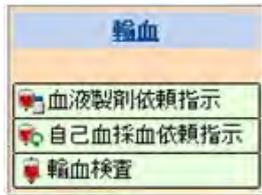
The detailed view for the '抗酸菌検査' (Acid-fast bacteria test) shows the following information:

- 検査材料: 喀出痰 (Sputum)
- 採取部位: 口腔気道検体 (Oral airway specimen)
- 検査項目: 抗酸菌染色 (Acid-fast bacteria stain), 抗酸菌培養 (Acid-fast bacteria culture), 抗酸菌感受性試験 (Acid-fast bacteria sensitivity test), 結核菌群核酸同定 (Mycobacterium group nucleic acid identification), Mavium 核酸同定 (Mavium nucleic acid identification), Minitracellulae 核酸同定 (Mitracellulae nucleic acid identification)

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 4.4 輸血検査

- (1) 電子カルテシステム ナビゲーションマップ オーダの中から **血液製剤依頼指示** を選択します。



- (2) 血液製剤依頼指示画面 (背景が淡ピンクの項目は必須入力項目)

血液製剤依頼指示 ※血液型はタイミクの異なる2つの採血検体が必要です。

体輸血液型 **A** 型 Rh **+**

血液型不一致理由

使用予定日時

使用場所

病式

検体診断

使用目的

輸血予定日を入力してから製剤を選択してください。

製剤種  T&S ※T&S依頼時は必ず「RBC」を選択してください。

照射赤血球源 1-RBC-LR 指示数

照射濃厚血小球 1-PC-LR 単位: RBC, PC

本数: 自己血 200ml

本数: 自己血 350ml

本数: 自己血 400ml

本数: 新鮮凍結血漿 FFP-LR1 20mL1 単位

本数: 新鮮凍結血漿 FFP-LR4 60mL4 単位

照射洗浄血小球 1-WPC-LR 本数: FFP, 自己血

照射洗浄血小球 1-LA 1-PC+HLA-LR

赤血球製剤は単位指定を行ってください!!

製剤種 指示数 単位指定

採血日

同意書

指示継続

患者プロフィール情報

本人血液型 **A** 型 Rh **+** 身長・体重 1600 cm 60.000 kg

妊娠回数

輸血歴(最新)

副作用(最新)

不規則抗体

判定 (-) 検査日 2022/07/05

抗体名 抗D抗体

感染症	結果	検査日	検査項目	結果	採血日
TP抗体	-	2015/07/21	クロスマッチ試験	保存済	2015/01/31
RRR	-	2016/04/28	輸血前保管検体		
HBs抗体	/	2017/02/23			
HCV抗体	/	2017/02/23			
HEV-1 2+抗体	/	2017/02/23			
HBs抗体	/	2017/02/23			
HBc抗体	-	2012/09/11			

※腎不全、高K血症の患者に輸血を行う場合は臨床状態から「腎不全、高K血症患者輸血」を選択してください。

臨床状態

指示継続

採血日に選んで同一製剤を依頼する場合は指示継続から予定日追加を選択し継続ボタンを選択してください。

#### ① 依頼血液型

- 血液型が表示されている場合はそのままオーダを継続してください。
- 血液型欄が空欄でかつ血液型未検査、血液型検査中の状況でオーダをしたい場合は血液型欄(ABO Rh 2カ所)に「??」と入力してください。血液型不一致理由欄が入力必須項目となるので該当理由を選択してください。
- 血液型検査をオーダしていない場合は[検体検査]からオーダしてください。(クロスマッチ採血と同時採血では血液型が確定できません。必ず別オーダ別採血をお願いします)

注意：他院で検査された血液型、患者および患者家族等が申告した血液型、献血手帳・母子手帳等に記載の血液型は転載せず、必ず「不明」と入力してください。

#### ② 血液型不一致理由

血液型不明のままオーダしたい場合や血液型が不一致となった場合には必ず入力してください。(未検査の場合は『検査中のため』を選択)

#### ③ 使用予定日

現在のシステム日時より未来の日時を選択

#### ④ 使用場所

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

⑤ 術式

⑥ 臨床診断

⑦ 使用目的

⑧ 製剤選択

- ・製剤種、指示数を入力し、追加ボタンを押してください。
- ・FFP、自己血は指示数ではなく、本数を指定してください。
- ・T&S依頼の場合はを入れI r-RBC-LR選択後必要単位数を入力
- ・手術室へRBCを持ちみたい場合は“I r-RBC-LR (持ち出し用)”を選択
- ・赤血球製剤の場合は単位指定が可能だが未入力でも可(未入力の場合は2単位製剤を準備)

⑨ 採血日

- ・クロスマッチ用検体採血日を入力
- ・画面右側の“患者プロフィール情報”を参照し、前回のクロスマッチ採血日が輸血予定日の4日以内であれば前回の検体が使用可能です。
- ・この入力で、クロスマッチ採血がオーダされるわけではありません。クロスマッチ採血は次に展開される「輸血検査」オーダ画面で行う必要があります。

⑩ 同意書

同意済みなら「済」を、これから同意を得る場合は「未」を選択してください。

⑪ 緊急輸血指示およびK吸着フィルター使用指示、

- ・緊急輸血の場合は緊急度を選択します。緊急度1、緊急度2の場合は検査室への連絡が必須です。

- ・K吸着フィルターを使用する場合も同様にチェックを入れてください。

注意：カリウム吸着フィルター使用は赤血球製剤に限ります。その他の製剤では安全性・効果が保証されていません。

⑫ 臨床状態

腎不全、高K血症患者への輸血で、照射経過日数の少ない製剤を希望される場合に使用します。

⑬ 指示継続

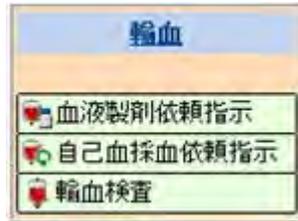
複数日の血液製剤依頼オーダを発行したい場合に「予定日追加」を選択し、右下「継続」ボタンを押すことで継続オーダ入力が可能となります。

⑭ 確定ボタン

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(3) 輸血検査オーダー画面 (輸血オーダーに連動して起動します)

輸血検査を単独で依頼したい場合はナビゲーションマップのオーダーの中から **輸血検査** を選択します。



① 検査日を入力します。

② 検査項目の選択

画面右の輸血歴および「検査結果 (最新)」欄 (感染症検査結果、輸血前検体保管提出日、クロスマッチ採血提出日の表示) を参照しながら、5つのボタンのうち、該当する全てのボタンをもれなく選択すると、該当検査項目が画面下部に表示されます。クロスマッチ採血は4日間有効であり、輸血予定日より4日以内に提出されている場合は不要です。

③ 選択後、右下「確定」ボタンを押します。

④ いずれにも該当しない場合、右下の「閉じる」ボタンを押します。

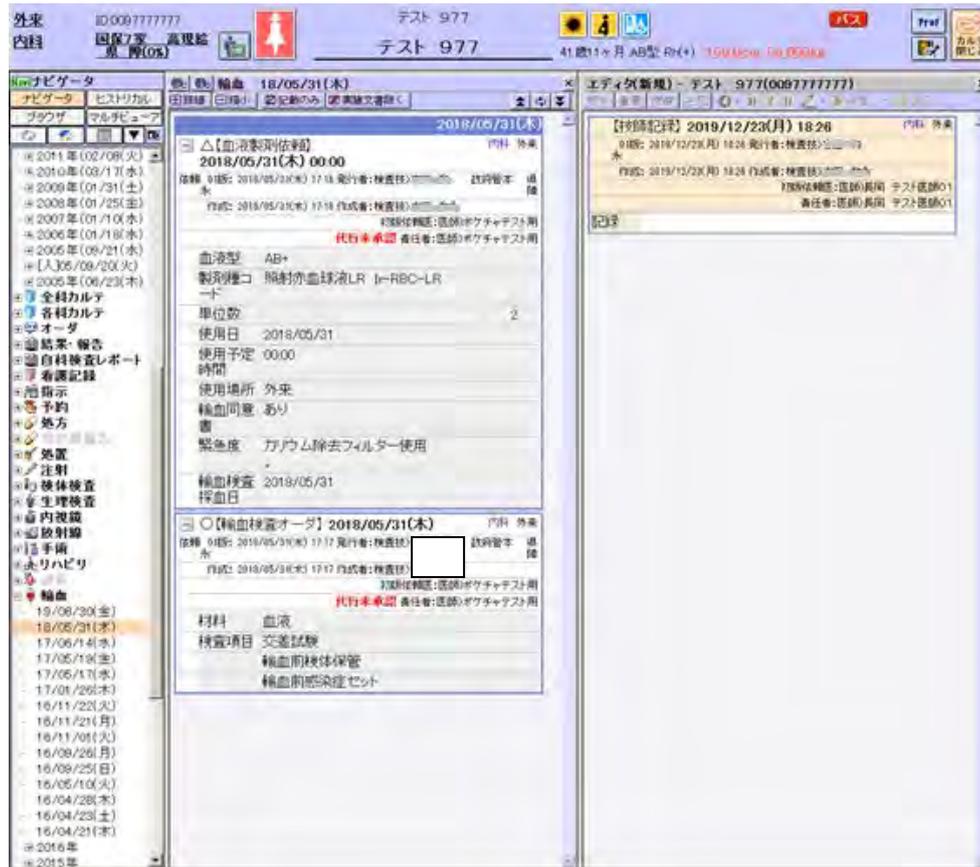
(4) オーダ発行は入力後カルテを閉じたタイミングでオーダー情報が送信されます。

(5) システム障害などで端末が使用できない場合の血液請求は、輸血伝票を使用してください。

(6) オーダ確定後、修正または削除を行いたい場合は必ず輸血検査に連絡してください。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(7) 電子カルテ 血液製剤依頼・輸血検査依頼完了画面 (見本)



4.5 口頭依頼の対応

- (1) 口頭のみによる検査依頼には対応しません。必ず電子カルテシステムを用いた検査依頼入力、また委託検査などで電子カルテシステムに登録されていない特殊な検査項目は依頼書に必要事項を記載し検体と揃えて提出してください。
- (2) 輸血検査のT&S依頼の対応では、事前の電子カルテシステムを用いたT&S依頼入力があることを前提とし、術中術後に輸血が必要となった場合は口頭依頼による使用単位数の検査を実施し、血液製剤の出庫を行います。



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 5. 採取容器

### 5.1 生化学検査①

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	検査項目	検査内容	備考
インセパック®II-D	橙		8mL (最大)	凝固促進剤 分離剤	生化学	生化学、内分泌、 腫瘍マーカー、 感染症、薬剤、 外注	
インセパック®II-D	青		8 mL (最大)	凝固促進剤 分離剤	生化学	生化学、内分泌、 腫瘍マーカー、 感染症、薬剤、 外注	外来至急対応
インセパック®II-D	黄		8 mL (最大)	ヘパリン中和 剤 高速凝固促進 剤 分離剤	生化学	生化学、内分泌、 腫瘍マーカー、 感染症、薬剤、 外注	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.1 生化学検査②

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	検査項目 検査内容	備考
インセパック®II-D	赤		2 mL	EDTA-2K (スプレー塗布)	BNP	
BD バキュテイナ	紺		2 mL	EDTA-2K	アンモニア	冷却で提出
トチチューブ	白		5 mL～ 6 mL	無	蓄尿、尿検査（定性、沈渣を除く）全般	

商品名	診断薬・採取容器	採取量	検査項目	備考
大塚呼吸採取バッグ 使用診断薬ユービット		呼気 200 CC～250 CC ユービット錠服用前後各1 バッグ	尿素呼気試験	使用診断薬ユービットの 用法・用量及び使用上の 注意を確認の上服用す る。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 5.2 血液検査

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	検査項目 検査内容	備考
インセパック®II-D	紫		2 mL	EDTA 2K 3.6 mg (スプレーコート)	血算 血液像 血液型 トロポニンT 定性 H-FABP NAP	
インセパック®II-W	黒		1.8 mL	3.2 %クエン酸Na 水溶液	凝固・線溶検査	採血量厳守 (容器のラインまで採血)
モノセッドV-S アダプター付き	オレンジ (内筒黒)		12.8 mL	クエン酸ナトリウム	血沈	採血量厳守 (容器のラインからラインまでの間)
硫酸マグネシウム (MgSO4) 入り採血管	白		2 mL	飽和硫酸マグネシウム (MgSO4)	EDTA 依存性偽性血小板減少症 用血小板数	
血小板凝集能用採血管	白		7.2 mL	クエン酸ナトリウム	血小板凝集能	採血量厳守 (容器のラインまで採血)

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.3 輸血検査

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	検査項目 検査内容	備考
インセパック®II-D	紫		6.5 mL	EDTA-2Na	直接クームス 間接クームス 不規則抗体 クロスマッチ	
インセパック®II-D	クリーム		5 mL	凝固促進剤 分離剤	輸血前検体保存用	

### 5.4 血糖検査

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	検査項目 検査内容	備考
インセパック®II-D	灰		2 mL	EDTA-2K+NaF (スプレー塗布)	血糖、HbA1c	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.5 尿・便検査

商品名	採取容器	採取量 mL	添加剤	検査項目・検査内容	備考
TMC CUP ティーエムシー カップ		10 mL	無し	尿定性、尿沈渣、その他 尿検査	外来用 (ハルンカ ップラベ ラー用)
JA 尿コップ		10 mL	無し	尿定性、尿沈渣、その他 尿検査	病棟用
PS ハルピッツ 2号透明		10 mL	無し	尿定性、尿沈渣	ドック用
MA スピッツ ネジ		10 mL	無し	尿定性、尿沈渣	検診用
S 採便容器-A S 採便容器-B		添付文書の採取 法に従う	へペス緩衝液	便潜血1日法 便潜血2日法	
滅菌中試験管		採取手順参照	採取手順参照	胸水、腹水、髄液、 穿刺液、関節液	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

5.6 外注検査専用容器① (使用頻度の高いもの)

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	識別	検査内容	備考
ベノジェクトII	紫シール		7 mL	EDTA-2NA	B-7	タクロリムス、 血中カテコールア ミン、アミノ酸分 析、ACTH	
B-13 過塩素酸管	透明		1 mL	1.0N 過塩素酸	B-13	乳酸、ピルビン酸、 ビタミンC	採取後す ぐ、 転倒混和
ベノジェクトII	黄		10 mL	ヘパリンNa	B-18	DLST、T-SPOT	
インセパック®II-D	橙		5 mL	凝固促進剤 分離剤	B-28	ウイルス遺伝子検 査、HBV 核酸定量	

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

5.6 外注検査専用容器② (使用頻度の高いもの)

商品名	キャップの色	採血管	採取量 mL	添加剤	識別	検査内容	備考
インセパック®II-D SIM-L1008S ピンク	ピンク		5 mL	凝固促進剤 分離剤	B-22	ウイルス遺伝子検査、 HBV 核酸定量	
ベノジェクトII	ピンクシール		10 mL	凝固促進フィルム	プレーン管 (B-3or4)	クリオグロブリン バンコマイシン	
ネオチューブ NP-EN405V	紫		4 mL	EDTA2Na(遮光)	B-34	ビタミンB <sub>1</sub>	
Cell-Free DNA BCT CE	迷彩		10 mL	EDTA-3K	SRL 専用 (RAS)	RAS 遺伝子	要検査科 TEL

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.7 微生物学的検査①

容器名称 容器写真	検査項目	添加剤	検体保存条件	備考
P S 200 ccネジコップ 滅菌済み 	迅速検査：尿中レジオネラ抗原 尿中肺炎球菌莢膜抗原 便中CD抗原・トキシンA/B ノロウイルス抗原 便中ロタウイルス抗原 便中アデノウイルス抗原 好酸球染色（喀痰・尿・便） 口腔気道検体：喀痰、気切ガーゼ 消化器検体：便、十二指腸液、胃液 泌尿器検体：尿 *その他穿刺液で検体量多い場合	無し	冷蔵保存	淋菌検索の場合は直ちに提出。  一般培養、抗酸菌は同一容器で検査可能  便検体について、原則、オムツでの提出は受付不可。 便培養・CD・ロタアデノ・ノロは同一容器で検査可能
滅菌気管吸引用セット ショートタイプチューブ 	口腔気道検体：喀痰	無し	冷蔵保存	採取後、付属のキャップに付け替え搬送。  一般培養、抗酸菌は同一容器で検査可能
気管吸引用キット 	口腔気道検体：気管洗浄液、BAL/キレット、気管擦過物 消化器検体：十二指腸液、胃液	無し	採取後、直ちに提出	採取後、付属のキャップに付け替え搬送。
シードスワブ®γ3号‘栄研’ 	口腔気道検体：咽頭粘液、気管擦過物 消化器検体：便（直腸便）、肛門周囲膿瘍 泌尿器検体：尿道分泌物 生殖器検体：膣分泌物、頸管分泌物、子宮内容物、外陰部膿、ダグラス窩、バルトリン腺膿 その他：中耳貯留物、扁桃周囲膿瘍眼脂、眼脂、結膜、褥瘡、臍、乳汁、分泌物、浸出液、開放性膿、非開放性膿	変法アミーズ培地	冷蔵保存	抗酸菌検査の場合は3本採取。  便検体について、原則、オムツの提出は受付不可。
BD BBL カルチャースワブ プラス 	口腔気道検体：鼻汁、鼻腔粘液、上咽頭粘液、扁桃粘液、舌苔、副鼻腔 その他：耳漏	アミーズ輸送培地	冷蔵保存	無し

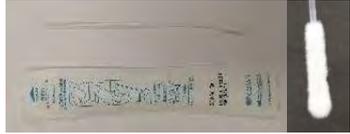
文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.7 微生物学的検査②

容器名称 容器写真	検査項目	添加剤	検体保存条件	備考
ケンキポーター®II 	消化器検体：大腸粘膜、胃粘膜、食道粘膜、胆汁、胃内容物 生殖器検体：子宮内容物、外陰部膿、ダグラス窩、バルトリン腺膿、羊水、精液、陰嚢水腫液 血液・穿刺液検体：穿刺液*1 その他：ドレーン、中耳貯留物、扁桃周囲膿瘍、乳汁、分泌物、浸出液、開放性膿、非開放性膿、組織、骨、骨髓、滑膜	インジケーター付き寒天*2	冷蔵保存	*1 血性検体の場合は抗凝固剤（クエン酸）を添加する。検体：抗凝固剤（クエン酸）=9：1  *2 寒天が赤色を呈している場合は使用不可。
滅菌スクリー試験管 キャップ付き 	迅速検査：髄液β-D-グルカン 髄液クリプトコッカス抗原 髄液肺炎球菌莢膜抗原  消化器検体：十二指腸液、胃液 血液・穿刺液検体：髄液、穿刺液*1 その他：カテーテル	無し	採取後、直ちに提出	*1 血性検体の場合は抗凝固剤（クエン酸）を混合する。検体：抗凝固剤（クエン酸）=9：1
遠沈管 CT-50B 50 mL コニカル Dnase/Rnase フリーキャップ付 	口腔気道検体：気管洗浄液、BAL/キレット、気管擦過物 消化器検体：十二指腸液、胃液 その他：CAPD 排液	無し	採取後、直ちに提出	無し
FA Plus 培養ボトル（好気用） FN Plus 培養ボトル（嫌気用） 	血液・穿刺液検体：血液、穿刺液 その他：CAPD 排液	吸着ポリマービーズ	採取後、直ちに提出し培養開始。	各ボトル5～10 mL 接種。 好気用：緑 嫌気用：橙
PF Plus 培養ボトル（小児用） 	血液・穿刺液検体：血液	吸着ポリマービーズ	採取後、直ちに提出し培養開始。	1～4 mL 接種。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 5.7 微生物学的検査③

容器名称 容器写真	検査項目	添加剤	検体保存 条件	備考
ベノジェクトⅡ真空採血管 	β-D-グルカン:血液	ヘパリン ナトリウム	採取後、 直ちに提出	無し
EDTA2K プラス ヘモ 	抗酸菌核酸同定:血液	EDTA-2K	冷蔵保存	B-19遺伝子診断検査血液用 採取量 5 mL
ニプロスポンジスワブ 	迅速検査: インフルエンザウイルス抗原 A・B	無し	採取後、 直ちに提出	綿棒チューブで搬送。
フロックスワブ(鼻腔用) 	迅速検査: RS ウイルス抗原 ヒトメタニューモウイルス抗原  好酸球染色(鼻汁)	無し	採取後、 直ちに提出	綿棒チューブで搬送
	迅速検査: インフルエンザウイルス抗原 A・B 新型コロナウイルス SARS-CoV-2 抗原 同時測定			
フロックスワブ(咽頭用) 	迅速検査: 咽頭アデノウイルス抗原 角結膜アデノウイルス抗原 A群β溶連菌迅速 マイコプラズマ抗原	無し	採取後、 直ちに提出	綿棒チューブで搬送
滅菌綿棒 P6S-K 	迅速検査: 便中アデノウイルス抗原 便中ロタウイルス抗原	無し	採取後、 直ちに提出	綿棒チューブで搬送。 滅菌ネジコップでの採取可
Ex スワブ 003T 	迅速検査: ノロウイルス抗原 便中 CD 抗原・トキシン A/B	無し	採取後、 直ちに提出	原則滅菌ネジコップでの採取が望ましい。
綿棒チューブ 12×170 mm 7ヶ付 	無し	無し	無し	迅速検体搬送用チューブ。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

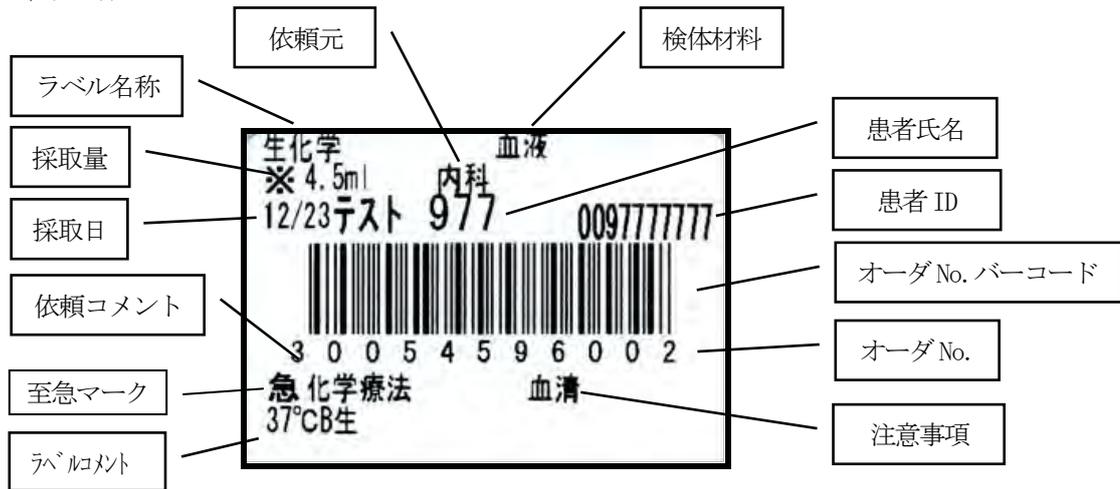
#### 5.7 微生物学的検査④

容器名称 容器写真	検査項目	添加剤	検体保存条件	備考
新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ID NOW 採取セット 綿棒チューブ (滅菌)  FLOQ スワブ 鼻腔用 	新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ID NOW	無し	採取後、直ちに提出	黄色の綿棒チューブ (滅菌) にいれて細菌検査室へ搬送。
新型コロナウイルス PCR 採取セット (喀痰)  (P S200 ccネジコップ 滅菌済み) 又は  (滅菌気管吸引用セット ショートタイプチューブ)	新型コロナウイルス PCR	無し	採取後、直ちに提出	細菌検査室へ搬送。
新型コロナウイルス PCR 採取セット 遠心チューブ (丸底) 滅菌済み 3mL  FLOQ スワブ 鼻腔用 	新型コロナウイルス PCR	PBS	採取後、綿棒先端を切り取り遠心チューブに移し直ちに提出。	細菌検査室へ搬送。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 6. 採取ラベル

### 6.1 採取ラベルの印字内容

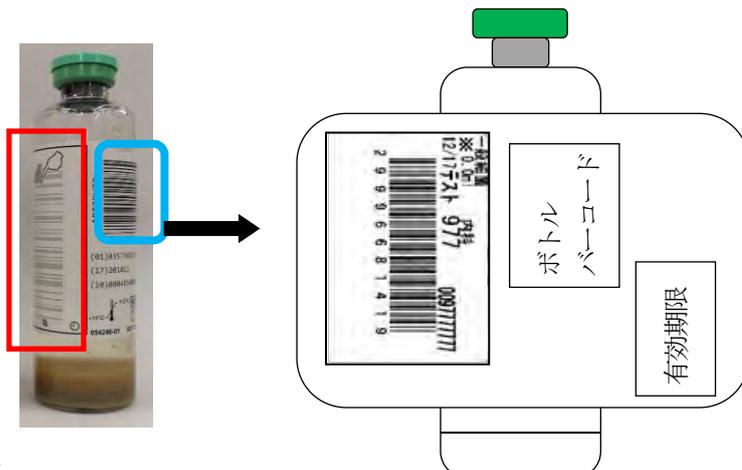


### 6.2 採取ラベルの貼付について

(1) ラベルは採血管や尿カップなどに対して下図のように貼り付けてください。

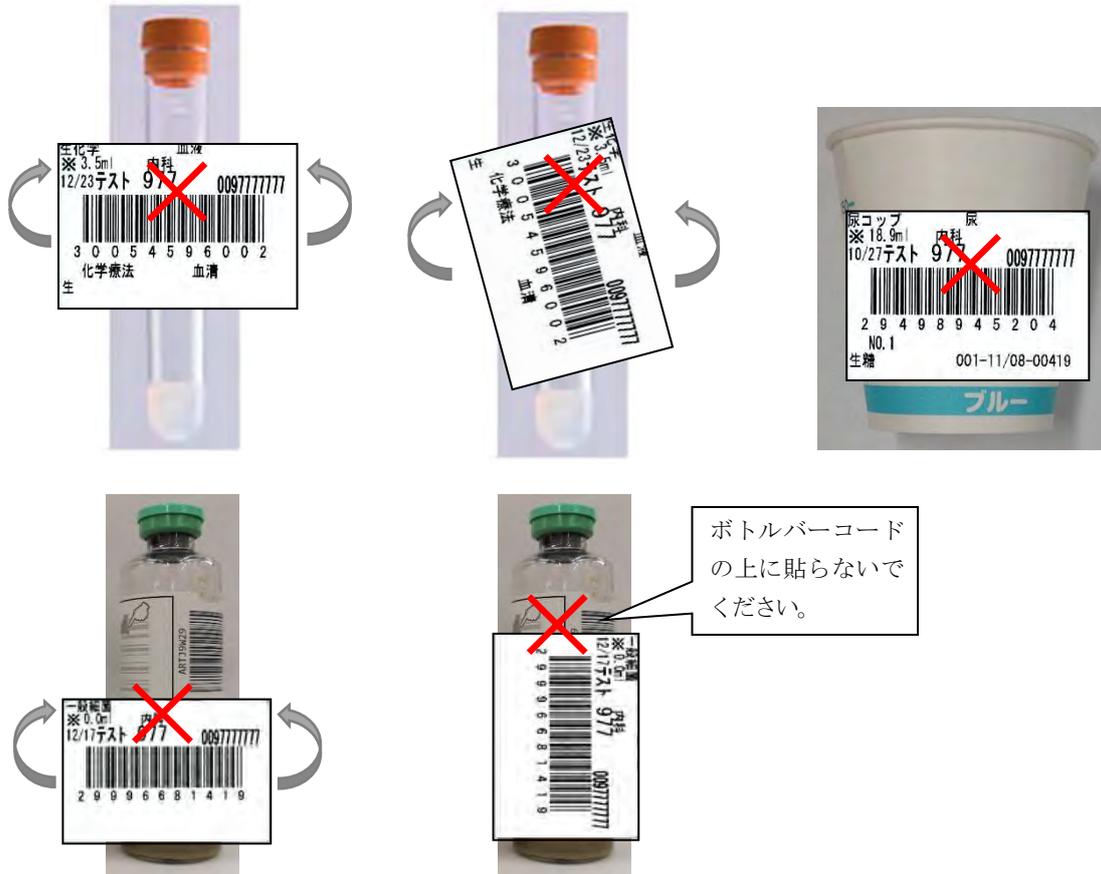


(2) 血液培養の採取ラベルは、下図の赤枠部分に貼り付けボトルバーコード（青枠）を覆わないようにして下さい。



文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

(3) 下図のような横や斜めのラベルの貼り方は不可です。バーコードの読取りができません。



## 7. 一次サンプル採取手順

### 7.1 採血（標準採血法ガイドライン GP4-A3 に準拠）

#### 7.1.1 採血管の準備

- (1) 採血者は指示された採血の採取ラベルを出力する。
- (2) 採血者は指示された検査項目に従って、必要な採血管を準備する。
- (3) 採取ラベルと採血管の組み合わせに間違いがないかを確認し、ラベルを適切に貼付する。
- (4) BC-ROBO で準備した場合は、採血指示に従って採血管にラベルが貼付されてトレイに準備される。  
採血管に貼られていないラベルがあった場合は該当する採血管に手貼りをし、トレイ内の指示書と採血管の数を確認する。
- (5) 内容物の逆流による健康被害を防止するため、抗凝固剤等の入った採血管では、軽く叩いて内容物を採血管の底部に落とす。
- (6) 温度差のよって生じる圧力差により採血管内容物が血管内に逆流することを防止するため、採血管が室温に戻っていることを確認する。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 7.1.2 必要器具の準備

- (1) 採血用腕枕
- (2) 使い捨て手袋（患者毎に交換する）
- (3) アルコール擦式手指消毒薬
- (4) 採血針
- (5) 採血ホルダー
- (6) 注射器（注射筒）
- (7) 採血管
- (8) 駆血帯
- (9) 温タオル
- (10) 採血部位の皮膚の消毒薬（70%エタノール綿またはクロルヘキシジン消毒綿）および消毒綿
- (11) ガーゼ、絆創膏およびテープ
- (12) 鋭利器材用の廃棄容器

#### 7.1.3 患者の確認

- (1) 採血者は、採血前に患者自身に姓名を述べていただく。
- (2) 意思の疎通が困難な患者では、家族・付き添い者等の協力を得て同様の作業を行う。
- (3) 採血室では、患者自身に姓名を述べていただくとともにバーコードによる患者照合を行う。

#### 7.1.4 患者への対応および必要事項の確認

- (1) 採血直前の患者への対応
  - ①採血者は、患者に不安を生じさせることのないよう適切に対応する。ただし、痛みや合併症が全くないなどの印象を与える発言は好ましくない。
  - ②患者が採血を拒んだ場合は、採血を強行せず、診療科または依頼医師に連絡し対応をお願いする。
- (2) 事前の確認事項
  - ①アレルギー・過敏症などの有無（消毒薬など）
  - ②血管迷走神経反応（VVR）の既往
  - ③採血を希望しない部位
  - ④食事摂取についての指示などの採血条件が守られていること
  - ⑤抗凝固薬などの服用や出血性疾患の既往の有無
  - ⑥その他の特別な指示についても見落とさないよう注意する。
- (3) 採血を避けるべき箇所
  - ①乳房切除を行った側の腕の血管
  - ②透析用シャントのある腕の血管
  - ③重症のアトピー性皮膚炎や火傷痕ある箇所
  - ④血腫や感染のある箇所
  - ⑤麻痺のある部位
  - ⑥下肢の血管
  - ⑦輸液が行われている部位の中核側の血管

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

#### 7.1.5 採血手順（翼状針を用いたホルダー採血）

- (1) アルコール擦式手毒薬で手指消毒し、使い捨て手袋を着用する。
- (2) 駆血帯装着前に、目視および指で触れて穿刺すべき血管について見当をつける。
- (3) 翼状針の準備をする。
- (4) 患者に採血に適した姿勢をとってもらおう。
  - ①通常外来患者は座位、入院患者では臥位で採血を行う場合が多い。
  - ②採血時に気分不快や意識消失を生じた既往がある場合は臥位での採血が安全である。
  - ③体位による検査値の変動が大きい検査項目（レニン活性）が含まれる場合は、臥位で採血を行う。
- (5) 駆血帯を装着する。
  - ①駆血帯は採血部位の7～10cm程度中枢側に巻く。
  - ②駆血帯を強く巻きすぎると、末梢側に出血斑や過度のうっ血、しびれが生じる場合がある。徴候が見られた場合は、駆血帯を一旦解除し、症状の改善を待ってから少しゆるめに装着する。
- (6) 患者に手を軽く握ってもらおう。  
何度も手を握ったり開いたりを繰り返す動作は、カリウム値に影響を与える可能性があるため避ける。
- (7) 指で触れて穿刺する血管を決定する。
  - ①候補の血管を人差し指で触れ、走行、弾性、可動性、拍動の有無などについて再度確認する。
  - ②できる限り太く怒張し、まっすぐで弾力のある血管を穿刺することが望ましい。
  - ③拍動のあるものは動脈なので、穿刺してはならない。
- (8) 穿刺部位の消毒を行い、消毒液が乾燥するまで待つ。
  - ①穿刺部位付近の汚れが強い場合には、新しい消毒綿を用いて消毒を繰り返す。
  - ②消毒液の乾燥が不十分な場合、穿刺時の痛みが増したり検体の溶血を生じる危険がある。
  - ③アルコールに対する過敏症がある場合は、クロルヘキシジン消毒綿など他の消毒薬を用いる。
- (9) 針を血管に対して30度以下程度の角度で刺入し、血液の流入を確認した後、針が動くことのないように翼の部分の指またはテープで固定する。
- (10) 採血管をホルダー内へまっすぐに差し込む。  
採血管内の物質や血液が患者血管内に逆流するのを防ぐため、採血管の底部が下向きになるよう、また採血管が穿刺部位より高い位置にならないように心掛ける。
- (11) 必要な血液を採取した後、直ちに採血管をまっすぐホルダーから抜去する。
- (12) 順次、採血管に血液を採取する。（7.1.6 採血管の順序参照）
- (13) 採血の終わった抗凝固剤または凝固促進剤入りの採血管は、確実に転倒混和する。  
転倒混和は泡を立てないように緩やかに5回以上確実にを行う。
- (14) 最期の採血管をホルダーから抜去し、その後駆血帯を解除する。  
駆血帯の解除は最後の採血管をホルダーから抜去した後に行う。
- (15) 穿刺部位に消毒綿を軽くあてた状態で針を抜き、圧迫する。  
翼状針を抜去する際には、針刺し防止機能を正しく作動させる。
- (16) 翼状針とホルダーを一体のまま、黄色のハザードマークのついた感染性廃棄容器に廃棄する。
- (17) 止血を確認できるまで5分間程度、穿刺部位を圧迫してもらおう。  
原病や抗凝固薬の服用により出血傾向がある患者は長めに圧迫してもらおう。
- (18) 採血後の採血管取り扱い手袋着用のままで行う。採血した採血管は、採血指示書通りに採血されているか再確認し、検体搬送トレイの試験管立てに立てる。採血管表面が明らかに血液で汚染された場合は、環境中への汚染の拡大を最小限にとどめるよう留意する。
- (19) 検査項目によって保存条件が別途定められているもの（採血後直ちに冷却や保温、遮光が必要な場合等）は適切に保存する。すべての検体について速やかに検査室に搬送することを心がける。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 7.1.6 採血管の順序

複数の採血管に採取する場合は、下記の表の順序が望ましい。

採血管の順番	真空採血管	注射器
①	生化学用	凝固検査用採血管(黒)
②	凝固検査用採血管(黒)	血沈用
③	血沈用	ヘパリン入り採血管(緑)
④	ヘパリン入り採血管	血算用試験管(EDTA)
⑤	血算用試験管(EDTA)	血糖(NaF入り採血管)
⑥	血糖(NaF入り採血管)	生化学用
⑦	その他	その他

### 7.1.7 採血手技に関する諸注意

#### (1) 溶血防止

- ①皮膚の消毒後は消毒液が十分乾燥するまで待って穿刺する。
- ②23Gより細い針は使用しない。
- ③血腫部位からの採血は行わない。
- ④注射器採血の場合、気泡が混入しないよう針を注射器にしっかりと接続する。
- ⑤注射器採血の場合、内筒を強く引きすぎない。
- ⑥採血管には規定量の血液を採取・分注する。
- ⑦採血管の転倒混和の際、血液を泡立てないようにする。

#### (2) 採血量の過不足

採血管ごとに、抗凝固剤の量との比率などから推奨の採血量が定められており、採血量の過不足により検査値が不正確になる可能性があります。特に凝固検査ではその影響が大きく、採血量の許容範囲は推奨量の±10%以内とされています。

#### (3) 翼状針真空採血における採血量不足対策

翼状針を用いて真空採血を行った場合、翼状針のチューブ内に残る血液量の分だけ、一番目の採血管に採取する血液量が不足します。

凝固検査や血沈など、血液量の正確性が要求される採血管を一番目に採取する際には、チューブ内を血液で満たす目的でそれと同じ採血管または無添加(プレーン)採血管(いわゆる“ダミー”採血管)を差し込み、チューブ内を血液で満たした後に目的の採血管を差し込んで採取してください。

### 7.2 採尿について(JCLS 尿試験紙検査法 GP3-P1 を参照)

- (1) 尿一般検査、培養、細胞診には、早朝第一尿が適しています。
- (2) 検査により、採尿方法(初尿・中間尿)が異なるので注意してください。  
培養オーダがある場合は、滅菌カップに採取。
- (3) 尿カップにラベルを貼って提出してください。複数のラベルを貼った場合はラベルの周囲を赤マジックで囲ってください。
- (4) 蓄尿の場合には、ラベルに蓄尿量を必ず記載してください。
- (5) 蓄尿方法について
  - ①蓄尿開始の第1尿は破棄する。
  - ②2回目以降の尿から蓄尿する。
  - ③前日の蓄尿を開始した同時刻に尿意がなくても排尿させて24時間蓄尿とする。
  - ④検査項目によって、指定の防腐剤が必要となります。  
尿C-ペプチド(CPR)の防腐剤は検査部に問い合わせてください。  
酸性蓄尿は酸性ユリメジャーを使用してください。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

### 7.3 採便について

#### (1) 迅速検査

##### i) 便中CD抗原・トキシンA/B

P S 200 ccネジコップに便を拇指頭大採取する。培養検査もある場合は同一容器で検査可能。採取困難な場合は細菌室へ問い合わせてください。

##### ii) ノロウイルス抗原

P S 200 ccネジコップに便を拇指頭大採取するか専用綿棒で採取する。綿棒の場合は患者肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入し採取。

##### iii) 便中アデノウイルス抗原、便中ロタウイルス抗原

P S 200 ccネジコップに便を拇指頭大採取するか専用綿棒で採取する。専用綿棒で採取場合

排泄便：くびれより先を軽く覆う程度。

直腸便：患者肛門に綿球が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入し採取。

#### (2) 培養検査

P S 200 ccネジコップに便を拇指頭大採取する。各種便の迅速検査がある場合は同一容器で検査可能。採取困難な場合は細菌室へ問い合わせてください。

#### (3) 免疫学的便潜血反応について

- ① 容器の採便棒の先端溝で、排便された便の表面全体からまんべんなく擦りとりします。
- ② 溝が便で見えなくなったら容器に入れて蓋をします。
- ③ 容器には患者氏名を記載し、緑袋の所定の位置または容器の平らな場所にバーコードが見えるようにラベルを貼って提出してください。
- ④ 注意事項
  - ・免疫学的潜血反応検査は生理中の場合や水様便の場合には、採取を避けてください。
  - ・免疫学的潜血反応検査は便器の洗浄水内に落下した便は検査に適しません。
  - ・添付の説明書に従って採便してください。

### 7.4 髄液検査について

(1) 髄液中の細胞は、採取後1時間を超えると減少します。必ず1時間以内に提出してください。

(2) 必要量に満たない場合には、優先順位の確認を行います。

※試験管を横にすると髄液が漏れる可能性がありますので搬送機を使用しないでください。

### 7.5 体液検査について

ラベルに応じて検体量10mLに対し0.5 mL (1 mLに対して1滴) のクエン酸またはヘパリンを添加してください。

※試験管を横にすると穿刺液が漏れる可能性がありますので搬送機を使用しないでください。

### 7.6 微生物学的検査の検体採取

- (1) 全ての培養検体は必ず滅菌容器に採取する。
- (2) 検査材料ごとに決まった採取容器に採取する。
- (3) 抗菌薬が投与される前に採取する。不可能な場合は次回投与前。
- (4) 無菌材料の採取時は、採取部位の清拭および消毒を十分に行い常在菌の汚染を避ける。
- (5) 常在菌の混入が避けられない部位からの採取では、混入を最小限にとどめる。
- (6) 採取部位を消毒する場合は、消毒薬を十分に乾燥させてから採取する。
- (7) 検体採取の際、病巣部以外には触れないよう注意し、肉眼的に最も病的と考えられる部位から採取する。
- (8) 採取検体は速やかに検査科へ提出してください。やむを得ず一時的に検体を保管しなければならない場合は(4℃以下)保存する。ただし、髄液・血液・淋菌目的、アメーバ目的の場合は保管不可(直ちに提出)。
- (9) 喀痰は採取前に水道水でうがいしてから採取する。(早朝起床時の採取が理想的です)
- (10) 糞便検体は排泄便の場合、滅菌カップに便を拇指頭大(3g~5g)採取する。直腸便の場合はシードスワブγ3号の綿棒先端を肛門より2cmほど挿入採便後、容器に戻す。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

- (11) 尿検体で淋菌を検索する場合は初尿を採取する。
- (12) 血液培養は発熱、悪寒戦慄時に採血する。
- (13) 検査材料の採取量は検査案内を参照してください。(出来るだけ多いほうが望ましいです)
- (14) 原則穿刺液等、注射針を使用して採取した場合、針を外し、ルアーキャップを付けるか、または「5.採取容器」を参照し、該当容器に移して提出してください。

#### 7.7 血液ガスについて

採血後、速やかに検査室へ直接持参して下さい。

### 8. 搬送手順

#### 8.1 採血室(外来)、各科外来

- (1) ダムウエーターによる搬送  
採血室と検査室間はダムウエーターにより5分から10分間隔で検体を搬送します。
- (2) 医師、看護師、看護助手等の職員による採血室への持参(時間外は不可)  
各科外来で採取した検体が採血室に届けられた場合、ダムウエーターを使用して搬送します。  
採血室までは検体をビニール袋等にて密封・梱包し検体飛散防止、感染防止を行い提出してください。
- (3) 医師、看護師、看護助手等の職員による検査室への直接持参  
検査室までは検体をビニール袋等にて密封・梱包し検体飛散防止、感染防止を行い提出してください。

#### 8.2 病棟、救急外来、透析、点滴室

##### (1) 搬送機による搬送

検体を送る

- ①タッチパネル表示画面の「行先選択」をタッチします。
- ②送り先がある階を選択しタッチします。
- ③送り先をタッチします。
- ④扉のロックが外れるので検体をコンテナに入れます。
- ⑤送り先の表示を確認します。
- ⑥「送る」をタッチするとコンテナが発進します。

検体を受け取る

- ①コンテナが到着すると「ピーピー」と音が鳴ります。
- ②「取り出し」をタッチします。
- ③扉のロックが外れるので検体を取り出します。
- ④「待ち受け」をタッチします。

搬送機の不具合時

不具合が発生したら、直ちに中央監視室(夜間・休日は防災センター)に連絡し、搬送機を使用せず別な方法にて搬送してください。搬送途中の物があれば中央監視室に告げ、取り出してください。

- (2) 医師、看護師、看護助手等の職員による検査室への直接持参  
検査室までは検体をビニール袋等にて密封・梱包し検体飛散防止、感染防止を行い提出してください。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 9. 検体の受取

### 9.1.1 検体受入不可基準

- (1) 検体量過不足
- (2) 採取容器、材料間違い
- (3) 抗凝固剤添加採血管で採血された検体が凝固
- (4) 採取後の保存条件、搬送条件、搬送時間の不適切な検体
- (5) ラベルが貼付されていない
- (6) 輸液等の混入
- (7) 溶血の影響を受ける項目が依頼されている検体が溶血していた場合

### 9.1.2 培養検体受入不可基準

- (1) 容器が異なる検体
- (2) 検体材料違い
- (3) ラベルがない、貼付されていない
- (4) 採取後の保存条件、搬送条件、搬送時間の不適切な検体
- (5) 乾燥した材料
- (6) 材料が少なく、確認できないもの
- (7) ティッシュペーパーで採痰した喀痰、膿性部分のない唾液様の痰

上記に該当した場合は、受入不可とします。ただし、検体が臨床的に重要であり、また再採取が不可能な場合において検査を実施した場合、問題の状況に応じた結果コメントを入力して報告します。

結果コメントのみでは不十分な場合は、結果の解釈の際に注意が必要であることを依頼医に連絡します。

### 9.2 検体再採取の手順

検体受付担当者は、検体受入不可となった検体を発見した場合、電話にて再採取を依頼し以下の必要事項を記録して検体再採取台帳を作成します。

- (1) 連絡日時
- (2) 依頼元、依頼情報など
- (3) 患者情報
- (4) 採り直し採取容器、理由
- (5) 依頼元電話対応者(連絡先)
- (6) 検査室担当者(連絡元)

### 9.3 至急検体の受入処理

- (1) 救急外来より提出された検体やラベルに急マークがある検体は優先的に処理を行います。
- (2) 「化学療法」のコメントがある検体は優先的に処理を行います。
- (3) 緊急度1～3の輸血依頼時はその緊急度の内容に従った処理を行います。(輸血マニュアル参照)

### 9.4 検査の性能仕様や結果の解釈に重大な影響を与えることが知られている要因

- (1) 採血後、経時的に変化しますので、検体はできるだけ早く提出してください。特にアンモニア(氷冷搬送)、血液ガス、BNP、の検体は、採血後直ちに提出してください。
- (2) 溶血により検査成績が変動する項目  
偽高値 LDH、AST、Fe、K、Mg、TP、ALT、CK、BTR、BFP、NSE、などです。  
偽低値 インスリン、BNP、などです。
- (3) 凝固用採血管は、採血量が正確でないと検査結果に影響します。(血液量が少ない場合は延長)
- (4) 寒冷凝集素、クリオグロブリン検査は、保温しないと低値になります。

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

## 10. 追加検査の依頼手順

### 10.1 検査オーダー発行後の元オーダーへの項目追加修正について

- (1) 検査ラベル出力前の元オーダーへの追加修正は可能です。
- (2) 検査ラベル出力後の元オーダーへの追加修正は禁止事項です。

### 10.2 提出済検体への追加オーダーについて

- (1) 該当する検査部門に電話で追加が可能か確認をしてください。
- (2) 検体が保存期間内であり、採血容器の適合、検体の残量があれば追加可能です。ただし項目によっては保存条件や採血後経過時間等により検査結果に影響を及ぼすため、追加を受けられない場合があります。安定性を超えているものを測定する場合は参考値になります。(コメントに参考値と入力します)
- (3) 追加が可能な場合は追加オーダーのラベルを検査室に届けてください。
- (4) 検査室で追加オーダーのラベルで受付を行い検査の実施、結果の送信をします。

### 10.3 検体保管期間

検体の種類	保存環境	保存期間
尿	室温	当日 (夜勤帯提出分は翌日まで)
髄液	冷蔵	1週間 (保存依頼 凍結6ヶ月)
体腔穿刺液	冷蔵	1週間
便	室温	1週間
アプト試験検体	室温	1日間
CAPD	室温	当日 (夜勤帯提出分は翌日まで)
穿刺液標本	室温	1年
乳汁	冷蔵	1週間
子宮頸管顆E (子宮頸管粘液)	冷蔵	1週間
血算・血液型測定用血液	室温	1日間
凝固測定用、血小板凝集能用検体	室温	1日間 (追加は採血後4時間以内)
凝固測定用血漿(後日検査目的)	凍結 (-30℃)	1ヵ月
交差試験用	冷蔵	4日間
交差試験実施後の検体	冷蔵	1ヵ月
血液型、間接直接ケム実施後検体	室温	20日間
輸血前検体保管	凍結 (-30℃)	2年
末梢血液像標本	室温	1年
骨髓像標本	室温	6年
血沈	室温	1日間
生化学測定用血清	冷蔵	4日間
BNP 測定用の血漿	室温	1日間
血糖、HbA1c 測定用の血液	冷蔵	3日間 (健診検体5日間)
血中薬物検査測定用の血液	冷蔵	4日間
アンモニア測定用の血漿	冷蔵	4日間
尿化学測定用の尿	冷蔵	4日間
血液ガス分析用の血液	室温	当日
ベビービリルビン	室温	当日
尿素呼気試験バック	室温	当日
一般細菌の検体	冷蔵	3日
抗酸菌の検体	冷蔵	3日
届出対象の菌株	凍結 (-30℃)	1年

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

抗酸菌の菌株(結核菌)	ふ卵器(37℃)	1年
抗酸菌の菌株(非結核菌)	ふ卵器(37℃)	6ヵ月
迅速検査検体	冷蔵	3日
β-Dグルカンの検体	冷蔵	3日
院内コロナPCRの検体	凍結(-30℃)	5日

検体保管オーダーなどにより、具体的な依頼医の依頼のあった検体は保存をします。

#### 11. 感染性廃棄物の処理について

感染性廃棄物は、院内「感染性廃棄物管理規程」に従って処理をして下さい。

#### 12. アドバイスサービスの案内

検査の依頼、検体採取方法および検査結果の解釈における臨床アドバイスに関する問い合わせ先

検体検査部門名称	電話番号	業務内容
一般検査		尿一般検査、便検査、穿刺液検査、血糖検査、HbA <sub>1c</sub>
血液学的検査		血算、血液像、凝固線溶検査、血沈、骨髓像
輸血検査		血液型、輸血
生化学的検査、免疫学的検査		生化学検査、CRP検査、免疫グロブリン、感染症検査 血中薬剤、腫瘍マーカー、甲状腺、機能検査、外注検査など
微生物学的検査		細菌検査、抗酸菌検査、迅速抗原検査

#### 13. パニック値報告手順

##### 12.1 外来患者・入院患者・健診・人間ドックの検体の対応

「パニック値報告マニュアル」に基づいた対応をします。

##### 12.2 依頼医が不在などにより連絡不能の場合の対応

「パニック値報告マニュアル」に基づいた対応をします。

##### 12.3 パニック値一覧

「パニック値報告マニュアル」パニック値一覧を参照してください。

#### 14. 個人情報の保護に関する検査室の方針

「個人情報保護対応マニュアル」に基づき機密情報を確実に保護するための方針と実施手順を遵守します。

#### 15. 苦情処理手順

検査室への苦情の連絡先

検体検査部門名称	電話番号	業務内容
一般検査		尿一般検査、便検査、穿刺液検査、血糖検査、HbA <sub>1c</sub>
血液学的検査		血算、血液像、凝固線溶検査、血沈、骨髓像
輸血検査		血液型、輸血
生化学的検査、免疫学的検査		生化学検査、CRP検査、免疫グロブリン、感染症検査 血中薬剤、腫瘍マーカー、甲状腺、機能検査、外注検査など
微生物学的検査		細菌検査、抗酸菌検査、迅速抗原検査

文書名	文書番号	版数
検体検査案内(1次サンプル採取マニュアル)	QT-5.4-1	第8版

採血業務		外来採血受付、外来採血、生理検査受付、
休日日勤 (8:30～17:00) 夜間 (17:00～8:30)		休日・夜間緊急検査項目

検査部に対してご意見、苦情、問い合わせ等がある場合は、直接各検査室に連絡あるいは病院の各フロアに設置してある「意見箱」に投稿をお願いします。電話および対面による苦情については、検査部の責任者（検査科部長、検査科技師長、各部門責任者）が対応し、その内容を文書で記録します。苦情の具体的状況と原因を分析し、対策が必要な場合は、再発防止策を講じます。

#### 16. 検査依頼以外の目的のサンプルの使用（検体の二次利用）について

検査依頼項目以外の目的のサンプルの使用にあたっては、サンプルが匿名、あるいはプールしたサンプルに限って使用します。サンプルを使用する場合は検査室管理主体に申請し承認を得てください。

承認申請は「検体（画像データ等含む）二次利用申請書」に必要な事項を記載して提出してください。

#### 17. 参考資料

- (1) 「標準採血法ガイドライン(GP4-A3)」 JCCLS
- (2) 「尿試験紙検査法」 JCCLS 指針-1 (JCCLS-GP3-P1). 日本臨床検査標準協議会会誌 ; vol. 19, No. 1, 2004
- (3) 小栗豊子ら. 臨床微生物検査ハンドブック (第5版). 東京: 三輪書店; 2017.
- (4) 院内「パニック値報告マニュアル」
- (5) 院内「個人情報保護対応マニュアル」
- (6) 院内「検体管理手順書」「検体二次利用申請書」
- (7) 院内「感染性廃棄物管理規程」
- (8) 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) 「共用基準範囲」